

つ つなげよう未来へ！
し 市民協働による
ま まちづくり



平成29年度

組織目標の成果

～ 「協働型市政の確立」を目指して～



長崎県対馬市

… アジアに発信する歴史海道都市 対馬 …

～ 目 次 ～

I	組織目標の評価一覧	・・・・・・・・	1
II	組織目標の成果（個票）	・・・・・・・・	4
1	総務部	・・・・・・・・	4
2	しまづくり推進部	・・・・・・・・	6
3	観光交流商工部	・・・・・・・・	16
4	市民生活部	・・・・・・・・	21
5	福祉保険部	・・・・・・・・	27
6	健康づくり推進部	・・・・・・・・	29
7	農林水産部	・・・・・・・・	32
8	建設部	・・・・・・・・	40
9	水道局（部）	・・・・・・・・	42
10	中対馬振興部	・・・・・・・・	44
11	上対馬振興部	・・・・・・・・	48
12	消防本部	・・・・・・・・	55
13	教育委員会事務局	・・・・・・・・	58

平成29年度 対馬市組織目標の評価一覧

部署	コード		目 標	評 価	
	全体	個別			
総務部	1	01-01	健全な財政運営の執行と財政状況のわかりやすい公表を行います。	○	
	2	01-02	入札・契約の適正化に努めます。	○	
しまづくり推進部	3	02-01	第2次対馬市総合計画の進捗管理を行います。	○	
	4	02-02	対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理及び必要に応じた見直しを実施します。	○	
	5	02-03	対馬市景観計画の策定を進めます。	○	
	6	02-04	対馬市主要施策に係るプロジェクト会議を設置します。	×	
	7	02-05	様々な機関や業種が連携して産業の振興を目指します。	○	
	8	02-06	小規模水素ステーション及び燃料電池自動車の導入を促進します。	○	
	9	02-07	木質バイオマスボイラーの整備促進を図ります。	△	
	10	02-08	国際航路に国内旅客を混乗させる取組を進めます。	○	
	11	02-09	地域主導のまちづくりの強化・推進のため地域マネージャー制度を見直します。	△	
	12	02-10	U・Iターン者を応援します。	○	
観光交流商工部	13	03-01	魅力ある観光情報システムづくりを目指します。	○	
	14	03-02	地場製品の更なる消費拡大に取り組みます。	○	
	15	03-03	新規参入事業者の誘致と既存事業者への支援による商工業の活性化を図ります。	○	
	16	03-04	国際交流イベントをはじめとした交流人口の拡大を図ります。	○	
	17	03-05	対馬固有の遺跡や文化財の保存・活用を図ります。	○	
市民生活部	18	04-01	窓口コンシェルジュ化、親切な窓口づくり、証明書交付事務の適正化と効率化に努めます。	○	
	19	04-02	滞納処分の強化を図ります。	△	
	20	04-03	各種団体が連携したりサイクル、ゼロ・エミッションを推進します。	△	
	21	04-04	漂流・漂着ごみの回収と発生抑制対策を推進します。	○	
	ターミナルサービスセンター	22	04-05	市民ニーズの高度・多様化に応じた体制づくりの強化を図ります。	○
		23	04-06	各種収納率の向上と徴収の徹底に努めます。	△

部署	コード		目 標	評 価
	全体	個別		
福祉保険部	24	05-01	高齢者・障がい者の生きがいを創出します。	○
	25	05-02	入所保留（待機）児童の解消を図ります。	○
健康づくり推進部	26	06-01	市民健診の受診率向上に努めます。	○
	27	06-02	「第2次健康つしま21計画」を策定します。	○
	28	06-03	介護予防自主活動の継続と拡大を図ります。	◎
農林水産部	29	07-01	対馬椎茸“やる倍”ナバダス計画総合対策支援事業を実施します。	△
	30	07-02	市有林整備の推進による循環型森林資源活用のためのオフセット・クレジット提案事業を実施します。	×
	31	07-03	対馬猪鹿活用促進事業を実施します。	○
	32	07-04	学校給食地場農林水産物導入事業を実施します。	△
	33	07-05	対馬の農林水産業担い手・「林業女子」育成及び「人財」発掘事業を実施します。	○
	34	07-06	水産物の輸送費補助を実施します。	△
	35	07-07	「海洋保護区」の設定を進めます。	○
	36	07-08	基盤整備工事の早期発注、早期完成に努めます。	△
建設部	37	08-01	市営住宅使用料未収金の縮小に努めます。	△
	38	08-02	公共工事の早期発注・早期完成に努めます。	◎
（水道局）	39	09-01	水道料金の収納率向上に努めます。	△
	40	09-02	水道事業の有収率向上に努めます。	○
中対馬振興部	41	10-01	中対馬未来づくりアクションプランを策定します。	◎
	42	10-02	適正な窓口業務、管轄地区内の環境美化に努めます。	○
	43	10-03	税・水道料金の納付促進に努めます。	△
ス峰 セン ター サ ー ビ ス	44	10-04	快適な窓口サービスと電話対応の向上に努めます。	○
上対馬振興部	45	11-01	地域イベントを活かし交流人口の拡大を図ります。	○
	46	11-02	対馬の自然を活かした観光地の整備を図ります。	○
	47	11-03	窓口サービスの適正・迅速化と電話対応の向上を目指します。	○
	48	11-04	公共工事の早期発注・早期完成に努めます。	△

部署	コード		目 標	評 価
	全体	個別		
上 県 行 政 サ ー ビ ス セ ン タ ー	49	11-05	窓口及び電話対応の向上に努めます。	○
	50	11-06	地域イベント・ボランティア活動へ参加します。	○
	51	11-07	庁舎内外の清掃及び整理整頓を徹底します。	△
消 防 本 部	52	12-01	地区消防団員の増員、車両の適正配置及び団員の安全装備品配備を進めます。	△
	53	12-02	応急手当の普及開発活動に取り組みます。	○
	54	12-03	住宅用火災警報器設置促進、維持管理及び宿泊施設の消防用設備等設置促進を図ります。	△
教 育 委 員 会 事 務 局	55	13-01	島っこ留学制度による留学生1名以上を招致します。	○
	56	13-02	ふるさと対馬を愛し、豊かな心と確かな学力を身に付けた子どもを育成します。	○
	57	13-03	地域の特性を生かした生涯学習を推進します。	○
	58	13-04	文化財の保存・活用を図ります。	○

■ 集 計 表

項 目		結 果
◎	目標を上回る実績	3
○	目標どおりの実績	37
△	目標を下回る実績	16
×	目標を著しく下回る実績	2
—	評価不能	0
計		58

全体	1
個別	01-01

平成29年度 [総務部] 目標の成果

課名	財政課
----	-----

No.	項目	健全な財政運営の執行と財政状況のわかりやすい公表																		
	1. 組織目標	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市の財政状況や予算・決算などについて、市報・ホームページにわかりやすい形で掲載し、市の財政状況に関する市民の理解を深められるように努めます。 統一的基準による財務書類の作成と公表に取り組みます。 <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 予算、決算の状況等について市報、ホームページに掲載 																		
	2. 実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> 財政状況等公表状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>公表項目</th> <th>ホームページ</th> <th>市報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年度当初予算概要</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>平成28年度下半期及び平成29年度上半期予算の執行状況</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>平成28年度決算</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>平成28年度健全化判断比率及び資金不足比率</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>平成28年度財務書類(財務4表)</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	公表項目	ホームページ	市報	平成29年度当初予算概要	○	○	平成28年度下半期及び平成29年度上半期予算の執行状況	○	○	平成28年度決算	○	○	平成28年度健全化判断比率及び資金不足比率	○	—	平成28年度財務書類(財務4表)	○	—
公表項目	ホームページ	市報																		
平成29年度当初予算概要	○	○																		
平成28年度下半期及び平成29年度上半期予算の執行状況	○	○																		
平成28年度決算	○	○																		
平成28年度健全化判断比率及び資金不足比率	○	—																		
平成28年度財務書類(財務4表)	○	—																		
	3. 評価	○																		
		<p>当初予算をわかりやすく説明した「対馬市のしごと 平成29年度の予算」を作成し、市内全世帯に配付するとともに、ホームページに掲載しました。 平成28年度の決算状況についても公表しました。 統一基準による財務書類(財務4表)(平成28年度分)を作成し、ホームページに掲載しました。</p>																		
	4. 今後の展開	<p>今後ますます厳しい財政状況となることが予想されるので、しっかりとした財政見通しを立て、健全な財政運営に努め、市の財政状況について市民にわかりやすい形で公表していきます。</p>																		

全体	2
個別	01-02

平成29年度 [総務部] 目標の成果

課名	財政課
----	-----

No.	項目	入札・契約の適正化
	1. 組織目標	<p>【内容】 常に入札契約制度の検証を行い、公正性の確保・客観性・透明性の向上に努めます。また、現下の経済情勢を考慮し、国・県の動向と歩調を合わせ、適正な落札率となるよう運用を図ります。 また、現在の入札参加資格者申請について検証を行い必要に応じ、改めるよう努めます。 さらに、業者の格付けについても検証し、必要に応じて改めるよう努めます。</p> <p>【指標】 ・最低制限基礎価格の乗率を建設工事については90%、コンサル業務、役務については75%とすることを継続し適正な落札率となるよう運用を図ります。 ・現在の入札参加資格者申請について、検証を行い、必要に応じて改めます。 また、業者の格付けについても検証し、必要に応じて改めます。</p> <p>・当初発注予定工事公表分（75件）の入札実施目標 ・第1四半期 25件 ・第2四半期 44件 ・第3四半期 6件 ・第4四半期 0件 ・平成27年度より入札時に提出を義務づけた工事費内訳書について引き続き制度の周知徹底に努めます。</p>
	2. 実績(成果)	<p>本課が取り扱った入札契約件数は、建設工事124件、建設工事関連コンサルの入札60件、物品・役務等69件で、平均落札率は、建設工事では91.24%でほぼ昨年と同等の落札率でした。また、コンサル業務の平均落札率は83.66%でした。物品・役務の平均落札率については83.17%でした。</p>
	3. 評価	<p style="text-align: center;">○</p> <p>落札率はほぼ昨年と同等であり、適正に推移しているものと考えます。 建設工事の入札における工事費内訳書の提出により見積能力のないような不良・不適格業者の参入を排除し、併せて談合等の不正行為やダンピング受注の防止を図りました。 建設業者等の信用及び技術力等を重視するとともに公正自由な競争を図ることができました。</p>
	4. 今後の展開	<p>入札契約制度を常に検証し、公正性・公平性・客観性を追求し、制度の構築に努めます。</p>

全体	3
個別	02-01

平成29年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名	政策企画課
----	-------

No.	項目	第2次対馬市総合計画の進捗管理を行います。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>平成28年度から開始した第2次対馬市総合計画を推進するため、外部委員で組織する総合計画審議会において、各施策の進捗状況や目標の達成状況、事業内容について検証します。</p> <p>【指標】</p> <p>施策の進捗状況・目標の達成状況の把握、事業内容の検証のため、総合計画審議会を1回開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●計画期間：平成28年度～平成37年度の10年間 ●達成年度：中間（平成32年度） 最終（平成37年度） ●計画の見直し：平成32年度 	
	2. 実績（成果）	
	<p>◎対馬市総合計画の主要施策、事業の各部局への進捗状況調査：平成29年6月</p> <p>◎調査結果による対馬市総合計画審議会の開催：平成29年8月</p>	
	3. 評価	○
	<p>対馬市総合計画審議会にて、「ひとづくり」、「なりわいづくり」、「つながりづくり」、「ふるさとづくり」の4つの挑戦において、14の最優先課題、36の具体的な施策の進捗状況、各目標項目の達成状況等の検証を行いました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>上記の検証を実施するほか、平成32年度に予定されている計画の見直しに向けた事前検討を行います。</p>	

全体	4
個別	02-02

平成29年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名	政策企画課
----	-------

No.	項 目	対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理及び必要に応じた見直しを実施します。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>平成27年度に策定した「対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる各種施策の進捗状況及び重要業績評価指標（KPI）を管理するとともに、新たなニーズや社会情勢の変化に応じ、事業・施策の追加等、総合戦略の見直しを行います。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●総合戦略に掲げる事業・施策の実施状況の把握 ●各重点施策に掲げる重要業績評価指標（KPI）の達成状況の把握 ●社会情勢の変化に対応した戦略の見直し 	
	2. 実績(成果)	
	<ul style="list-style-type: none"> ●事業・施策の実施状況・実施計画、目標・成果の調査：平成29年7月実施 ●総合戦略推進会議の開催（施策の検証）：平成29年8月31日 ●対馬市総合戦略及び地方創生推進交付金の状況市議会検証 ：平成29年12月11日 ●施策の実施状況・検証結果、実施計画の公表（市ホームページ） ：平成30年1月 	
	3. 評価	○
		<p>平成27年度に策定した「対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる各種施策の進捗状況及び重要業績評価指標（KPI）を管理するとともに、総合戦略推進会議及び市議会において、同戦略の進捗管理の検証等も計画どおり実施できました。今後も新たなニーズや社会情勢の変化に応じ、事業・施策の追加等を含む、総合戦略の見直しを行うとともに各年度における事業進捗管理を行っていきます。</p>
	4. 今後の展開	
		<p>総合戦略における施策を推進するために、地方創生交付金の積極的な活用を図るとともに、国境新法関係を含む新規施策を反映するよう戦略の見直しを行っていきます。</p>

全体	5
個別	02-03

平成29年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名	政策企画課
----	-------

No.	項目	対馬市景観計画の策定を進めます。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>対馬市景観計画の策定に向け、景観に関する現況調査を実施するとともに、市職員による作業部会及び外部委員を含めた景観計画策定委員会を設置し、景観形成に向けた課題整理及び景観計画の内容について協議を実施します。</p> <p>【指標】</p> <p>景観に関する現況調査、課題整理を行い基本方針を策定し、対馬市景観計画策定に向け作業を進めます。</p>	
	2. 実績(成果)	
	<ul style="list-style-type: none"> ●景観計画策定委員会の開催：4回（作業部会の開催無し） 【平成29年9月1日、12月13日、平成30年1月30日、2月26日】 ●対馬市景観計画【素案】完成：平成30年3月 	
	3. 評価	○
	<p>景観計画の策定に向け、本年度4回の委員会開催により、協議を進め一般区域と重点景観区域の設定、範囲、条件、基準など、概ね計画の素案は完了しました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>次年度、各地域での説明会、意見交換会等の開催により一定の合意形成を図りながら対馬市景観計画（完成版）を公表するとともに計画に基づいた対馬市景観条例を制定します。</p>	

全体	6
個別	02-04

平成29年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名	しまの力創生課
----	---------

No.	項目	対馬市主要施策に係るプロジェクト会議を設置します。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】 地域循環システムの発展的改編に伴い、今後の対馬市振興のために複数部局が連携して取組みを進めるべき施策を抽出し、「対馬市振興プロジェクト会議」として設置し、検討を進めます。</p> <p>【指標】 ◎対馬市振興プロジェクト会議【全体会】の開催：2回 ◎対馬市振興プロジェクト会議【部会】の開催：2回</p>	
	2. 実績(成果)	
	<p>新たなPTの検討段階まで終わりましたが、対馬市振興プロジェクト会議の開催まで至りませんでした。</p>	
	3. 評価	×
	<p>計画どおり進めることができませんでした。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>課内会議の協議を踏まえ、具体的な事業を実施します。</p>	

全体	7
個別	02-05

平成29年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名	しまの力創生課
----	---------

No.	項目	様々な機関や業種が連携して産業の振興を目指します
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>事業者団体、金融機関、大学などの研究機関、行政、その他産業振興に携わる団体等で構成する「対馬市創業支援会議」において、創業を希望する方を多方面から総合的に支援し、産業振興と雇用の増加により地域の活性化を目指します。また、特定有人国境離島の地域社会の維持に係る交付金による雇用機会拡充支援事業を活用し、雇用を伴う創業や事業拡大を行う民間事業者の支援を行います。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワンストップ相談窓口等での相談受付：70件 ・創業者の目標数：10件 ・雇用者の目標数：30名 	
	2. 実績(成果)	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ワンストップ相談窓口等での相談受付 受付数56件 ○創業者数 11件 ○雇用者数 80名 	
	3. 評価	○
	<p>相談件数は目標より下回りましたが、真の目的である創業や雇用者の数が目標以上に達成できました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>ワンストップ相談窓口の積極的な利用をお願いし、創業希望者の掘り起こしや、相談者が事業を進めやすい(雇用を生みやすい)環境を整えます。</p> <p>また、今年度までの補助金申請者や相談者へのアフターフォロー等の聞き取りから、より効果のある補助ができるよう補助金等の内容を見直します。</p>	

全体	8
個別	02-06

平成29年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名	しまの力創生課
----	---------

No.	項目	小規模水素ステーション及び燃料電池自動車の導入促進
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>電力系統安定化のため、水素インフラや燃料電池の活用に注目が集まっている中で、対馬においても水素社会を見据え、また、島内資源で製造が可能な水素の利活用を推進するため、小規模水素ステーション及び燃料電池自動車の先進的な導入を図ろうとするものです。</p> <p>【指標】</p> <p>関係機関(自動車・水素製造装置メーカー等)との関わりを維持しながら、塩害対策や導入事例など水素社会の動向を注視しつつ、引続き導入について検討します。</p> <p>達成年度：平成31年度 小規模水素ステーション、燃料電池自動車の導入</p>	
	2. 実績(成果)	
	<p>小型水素ステーションメーカーと協議を実施し、塩害地域である対馬においても設置できるようになったことや、設置に係る要件や、概算費用、維持管理コスト等について、一定の情報を得ることができました。</p>	
	3. 評価	○
	<ul style="list-style-type: none"> ・小型水素ステーション設置にかかる諸要件を明確にすることができました。 	
	4. 今後の展開	
	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に設置に係る概算費用と維持管理費用を算出し、平成31年度の導入に向けて事業を提案します。 	

全体	9
個別	02-07

平成29年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名	しまの力創生課
----	---------

No.	項目	木質バイオマスボイラーの整備
	1. 組織目標	<p>【内容】 島内のエネルギー資源活用及び低炭素社会化を図るため、公共施設に木質バイオマスボイラーを整備します。</p> <p>【指標】 旧いづはら病院跡地を利用した温浴施設への木質バイオマスボイラー設備及び付帯設備の整備に向けた検討を行います。</p>
	2. 実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画において、木質バイオマスボイラーの導入を検討しました。
	3. 評価	<p style="text-align: center;">△</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本計画において検討をしているものの、導入の決定には至っていません。
	4. 今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、木質バイオマスボイラー導入に向けて担当課と協議を実施していきます。

全体	10
個別	02-08

平成29年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名	政策企画課
----	-------

No.	項目	国際航路に国内旅客を混乗させる取組を進めます。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>福岡市と釜山市を結ぶ国際航路船に対馬北部からの国内旅客を混乗させていただき、比田勝～博多間の移動手段として利用することで、市民の生活利便性の向上と福祉の充実を図ります。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 九州郵船（株）、JR九州高速船（株）、対馬市で3者協議を実施 国土交通省との協議及び許可申請 CIQ関係省庁との協議、了承 国際港湾施設管理者との使用協議 ・市民への周知 	
	2. 実績（成果）	
	<ul style="list-style-type: none"> 九州郵船（株）、JR九州高速船（株）、対馬市で3者協議を実施し、運航に関する基本事項を取り纏めました。 国土交通省に対して運航許可申請、岸壁埠頭保安規定の変更利用申請を提出しました。 CIQ関係省庁と協議を行い、船内改修後の船内確認を実施しました。 	
	3. 評価	○
		<p>当初、4月からの運航開始予定であったが、7月に運航開始が遅れました。運航開始時期が遅れたものの、国土交通省からの運航許可及び岸壁埠頭保安規定については承認の内諾をいただきました。</p>
	4. 今後の展開	
		<ul style="list-style-type: none"> 7月の運航開始までに、国際航路の混乗運航に係る共同記者発表や地元住民への説明会を開催し周知を図ります。 今後も航路事業者及び関係省庁と協議を行い、国内旅客が利用しやすくなるよう取組を進めていきます。

全体	11
個別	02-09

平成29年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名	しまの力創生課
----	---------

No.	項目	地域主導のまちづくりの強化・推進のため地域マネージャー制度を見直します。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>「地域自らが考える将来ビジョン」である『地域づくり計画』は29か所（87行政区）、『行動宣言』は54か所（98行政区）での策定に留まっています。また、職員数の減少に伴う業務量の増加や地域課題の多様化・複雑化などを背景に、同制度が掲げた役割を果たすことができていない地域も見受けられます。そこで、地域の実情や従事する職員の実情を考慮し、環境変化に対応できる制度への見直しを図ります。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度見直し後の運用方法の確立 ・地区説明会の開催 ・校区会議の開催 	
	2. 実績(成果)	
		<p>○28年度に区長・内部集落支援員・地域マネージャーに対して実施したアンケート調査の検証を行い、現状の課題と今後の運用にあたっての方針を決定しました。</p> <p>○対馬市市民協働（共働）推進本部会議を開催し、制度見直しについて協議しました。</p> <p>○職員に対し、制度見直しの方向性について説明会を実施しました（12会場）。</p> <p>○職員に対し、再度配置登録の希望調査を実施しました（派遣・休職以外406名）。</p> <p>○希望調査をとりまとめ、校区単位での配置を決定しました。</p> <p>○校区会議を開催し、行政区やエリアごとの配置を決定する予定でしたが、日程調整不足により、次年度に繰り越しました。</p>
	3. 評価	△
		<p>○「つなげるためにつながる」をテーマに、制度発足当時と現在とのギャップを埋める作業を行いました。</p> <p>○「活動ゼロ」をいくらかでも上乘せし、地域と地域マネージャーがつながる「しかけ」づくりを行いました。</p> <p>○目標の達成には至りませんでした。次年度への布石を打つことはできました。</p>
	4. 今後の展開	
		<p>○新年度の早い時期に「校区会議」を開催し、行政区やエリアごとの配置決定を行い、区長をはじめとする地区との連携体制を構築します（H30年4月実施済）。</p> <p>○年度当初の区長会議において、新配置をお知らせします（H30年4月実施済）。</p> <p>○定期的に「校区会議」を開催し、地域マネージャー同士の情報共有や連携強化に努めます。</p> <p>○定期的に地域マネージャーに対し、地域とのつながり状況を確認し、サポートに努めます。</p>

全体	12
個別	02-10

平成29年度 [しまづくり推進部] 目標の成果

課名	しまの力創生課
----	---------

No.	項目	U・Iターン推進事業
	1. 組織目標	
	【内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンストップ窓口「しまぐらし応援室」を開設し、U・Iターン者に対応します。 ・対馬市移住・定住支援補助金を交付し、U・Iターン者数の増加を図ります。 ・対馬市移住・定住促進住宅を整備し、移住希望者へ貸し出す「移住お試し住宅」と移住後の定住支援のための「定住支援住宅」の運用を開始します。 ・各種移住相談会等への参加をはじめ、情報発信を続けていきます。
	【指標】	<ul style="list-style-type: none"> ・U・Iターン関係相談者数 50名 ・移住者数 10名
	2. 実績(成果)	<p>○【補助金交付実績】ふるさと就職奨励補助金：6組600,000円、結婚移住奨励補助金：5組250,000円、しま暮らし支援補助金：25組3,239,000円、空き家改修費等補助金3組876,000円 総計：39組4,965,000円</p> <p>○しまぐらし応援室運営委託として、民間住宅情報を収集、データ化を実施。また先輩移住者を取材し、移住者の生の声をパンフレットに掲載しました。</p> <p>○移住お試し住宅の改修と家具等の購入を行い、29年8月から運用を開始しました。6組11名が利用しました。移住お試し住宅利用後の移住実績は年度末時点では0件です。</p> <p>○全国各地で開催されたながさき移住サポートセンター主催の移住相談会に参加し、対馬市の情報発信と移住希望者への対応を行いました。福岡での相談会に会場された方1名のUターン実績がありました。</p> <p>◆U・Iターン関係相談者数：67名 ◆移住者数：58名</p>
	3. 評価	○
		<p>相談対応者数、移住者数共に目標数は上回ったが、この結果は29年度から開始した補助金の申請者と相談者が大半を占めており、ほとんどの方は対馬に移住することを既に決めていたのが現状です。今後は、Uターンの方には対馬に帰ってみようと思わせるような、Iターンの方には対馬を移住先として選んでもらえるような施策展開が必要と考えます。</p>
	4. 今後の展開	<p>対馬市が望む移住者ターゲットを「子育て世帯」と設定し、ターゲットに合わせた情報発信や環境整備を実施します。また、補助金申請により移住者の情報を把握しやすい環境は整ったため、今後は、移住後のフォローを充実させ、移住から定住につながる仕組みを構築します。</p>

全体	13
個別	03-01

平成29年度 [観光交流商工部] 目標の成果

課名	観光商工課
----	-------

No.	項目	魅力ある観光情報システムづくりを目指します。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】 観光案内板・誘導板の設置により、観光情報機能の強化を図るとともに、観光資源までのスムーズな誘導を促し満足度の向上を図ります。</p> <p>【指標】 ・観光案内板、誘導板を市内全域に14基設置（うち2基単独）予定</p>	
	2. 実績（成果）	
	<p>・観光案内板2基、誘導板を市内全域に28基設置しました。</p> <p>【観光案内板】 美津島1基、豊玉1基</p> <p>【誘導板】 厳原・美津島 14基、豊玉・峰5基、上県・上対馬9基</p>	
	3. 評価	○
	<p>観光案内板・誘導板設置数は目標指数を上回る結果となりました。 市内各所に点在する観光地へスムーズに誘導することで、観光客の満足度の向上につながると考えます。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>個人旅行のニーズの高まり、また、レンタカー利用の外国人も増加しています。 今後は、必要に応じて効率的に観光案内板、誘導板等の設置を行い観光客の満足度向上を図ります。</p>	

全体	14
個別	03-02

平成29年度 [観光交流商工部] 目標の成果

課名	観光商工課
----	-------

No.	項目	地場製品の更なる消費拡大に取り組みます。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>物産展等の開催や出展、福岡事務所や対馬観光物産協会と連携し、対馬の認知度向上、特産品の販路拡大及び対馬産品取扱店舗拡大に取り組みます。</p> <p>情報発信の拠点として「よりあい処つしま」を活用し、定期的な対馬フェアを開催し、集客・誘客、対馬特産品販路拡大を図ります。</p> <p>商品づくりの勉強会等を開催し、消費者ニーズに応じた商品づくりや販路拡大を図ります。</p> <p>「海山交流」を行っている地域と、物産・人・情報交流事業に取り組みます。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物産展売上額 10,000千円 ・レストラン等での対馬食材フェア開催 3会場 	
	2. 実績(成果)	
	<p>平成29年度の物産展は、主に福岡県内、大阪などで出展を行い、物産展の売上合計は10,116千円でした。</p> <p>「よりあい処つしま」では対馬フェアを実施しました。フェアの内容は、まぐろ・あなご・ブリをメイン食材として行い、よりあい処つしまにお越しいただくお客様に対馬の特産品を食べて頂き認知度向上を図りました。</p> <p>レストラン等での対馬フェアは、ホテル日航福岡、福岡サンパレス、西鉄シティホテルで実施し販路拡大を図りました。</p> <p>海山交流イベントは、熊本県山江村と岐阜県中津川市と各1回交流事業を実施しました。</p>	
	3. 評価	○
	<p>指数については、目標を達成することができました。</p> <p>物産展の開催・出展により、消費者の求める商品の把握ができ、商品の改良、パッケージの改良等、売れる商品づくりに繋がりました。</p> <p>また、福岡市内のホテルやレストラン等で対馬食材のフェアを実施し、対馬の特産品の販路拡大及び認知度向上に繋がりました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>物産展等を開催(出展)することで対馬の特産品の認知度向上を図り、都市圏での認知度を上げるとともに、販路拡大を行います。</p>	

全体	15
個別	03-03

平成29年度 [観光交流商工部] 目標の成果

課名	観光商工課
----	-------

No.	項目	新規参入事業者の誘致と既存事業者への支援による商工業の活性化
	1. 組織目標	
	【内容】	<p>人口減や少子高齢化、担い手不足、後継者不足などにより市内の産業は低迷し続けていますが、伸び続ける外国人観光客数や大型ホテルの建設など、商工業においては決して悪い状況ではありません。</p> <p>店舗の顧客満足度の向上や事業継承の推進を図るためにも、市内の事業者への設備投資を促進し、商工業の振興を図ります。</p>
	【指標】	<ul style="list-style-type: none"> ・対馬市商工業活性化推進事業補助金 年20件 ・商工業活性化協議 年5件 ・雇用推進策（労働者待遇改善含む）の策定 ・融資制度の活用促進
	2. 実績（成果）	
		<p>以下のとおり目標に対しての成果がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対馬市商工業活性化推進事業補助金 採択 21件 ・商工業活性化協議 10件 ・雇用推進策は1件策定 ・制度融資 年3件（全25件）の新規融資
	3. 評価	○
		<p>対馬市商工業活性化推進事業については、採択件数は目標を上回りましたが、事業承継案件が1件のみに留まりました。</p> <p>対馬市商工会とは上記補助金制度の推進や対馬市の商工業全体のニーズの調査のため、不定期ではありますが協議を行いました。</p> <p>雇用推進策としては、現状では人手不足という環境化であるため雇用条件の改善を推進する施策を検討しましたが、現状は他の雇用推進策の推進により30年度の予算化は見送られました。</p>
	4. 今後の展開	
		<p>対馬市商工業活性化推進事業の継続により、商工業者の設備投資による対馬の商工業の発展を推進していきます。また商工会との協議についても必要に応じて頻度を増加させ、新たな商工振興策の実施について検討したいと考えています。</p> <p>また、対馬だけでなく日本全体の課題でもある事業承継や雇用条件の改善については、商工会や市内の銀行とも連携し推進します。</p>

全体	16
個別	03-04

平成29年度 [観光交流商工部] 目標の成果

課名	文化交流・自然共生課
----	------------

No.	項目	国際交流イベントや朝鮮通信使行列の世界記憶遺産登録を活用した交流人口拡大
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>①対馬厳原港まつりにおける朝鮮通信使行列の再現、つしま海道音楽祭や対馬アートファンタジアの開催支援をし、交流人口の拡大を行います。</p> <p>②日本遺産PRのための看板等を設置し関連イベントを行います。</p> <p>③旅行社(者)へのマナー向上、ルール遵守の普及啓発を行い、市民の理解の促進を図ります。</p> <p>④朝鮮通信使の世界記憶遺産登録関連イベントの開催します。</p> <p>⑤朝鮮通信使を活用したまちづくり計画の策定します。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮通信使行列再現への参加者数 300人 ・つしま海道音楽祭への参加者数 450人 ・日本遺産PR用看板等設置3箇所、バスツアー2回 ・添乗員研修実施 ・世界記憶遺産登録関連イベントの開催 	
	2. 実績(成果)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮通信使行列再現への参加者数 300人 ・つしま海道音楽祭への参加者数 210人 ・日本遺産PR用看板等設置3箇所(繰越)、バスツアー2回実施 60人 ・添乗員研修実施 11人 ・朝鮮通信使の集いIN対馬の開催(2/24~25) ミュージカル670人、式典280人、通信使行列155人 ・朝鮮通信使によるまちづくり検討・実行委員会(4回)、部会(7回)の開催 	
	3. 評価	○
	<p>韓国人観光客は年々増加し、平成29年は過去最高の約36万人を記録した。今後も添乗員、ガイド研修等で韓国旅行客のマナー向上に向けた、啓発活動の充実を図っていきます。</p> <p>朝鮮通信使行列再現、アートファンタジア、海道音楽祭、朝鮮通信使関連イベントは一定の集客等もあり交流人口拡大に繋がりました。</p> <p>日本遺産の周知用案内板の設置が繰越となりました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>世界記憶遺産登録を活かしたまちづくり、「朝鮮通信使と言えば、対馬」のキャッチフレーズを基に朝鮮通信使によるまちづくり事業を推進いたします。</p> <p>つしま海道音楽祭については実行委委員会と協議を重ね、実施スキームを検討いたします。</p>	

全体	17
個別	03-05

平成29年度 [観光交流商工部] 目標の成果

課名	文化交流・自然共生課 博物館建設推進室
----	------------------------

No.	項 目	対馬固有の遺跡や文化財の保存・活用
	1. 組織目標	<p>【 内 容 】</p> <p>1 対馬博物館（仮称）施設の整備推進を行います。</p> <p>2 対馬博物館（仮称）の開館を見据え、博物館の魅力を市内外へ発信します。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>1 ① 実施設計の完成 ② 建築工事の着工及び施工管理の実施 ③ 管理運営基本計画に基づいた運営計画の具体化</p> <p>2 ① 九州国立博物館特別展示・対馬市里帰り展の開催 ② 文化財講座等による博物館の魅力発信 4回/年</p>
	2. 実績（成果）	<p>1 ① 実施設計完成 平成29年12月15日 ② 博物館棟ゾーンの工事着工 平成29年12月19日 工事契約 ③ 対馬博物館（仮称）基本・実施設計業務管理運営基本計画の策定</p> <p>2 ① 対馬の遺宝里帰り展 10/6～11/5 峰町歴史民俗資料館 観覧者数 2,228人（うち、市内観覧者1,845人） ② 博物館関連講座 3回実施</p>
	3. 評 価	○
		<p>○ 平成32年の完成を目指し、建設工事に着手することができました。</p> <p>○ 対馬の遺宝里帰り展は、当初目標を大きく上回り、多数の来館者がありました。これは文化財に対する市民の関心や郷土への愛着の高さによるものと思われます。</p>
	4. 今後の展開	<p>○ 博物館完成に向け、建設工事を着実に進めていきます。</p> <p>○ 博物館開館を見据え、展示計画や活動内容を具体的に決定していきます。</p> <p>○ 博物館周知のため、さらに広報活動に努めます。</p>

全体	18
個別	04-01

平成29年度 [市民生活部] 目標の成果

課名	市民課
----	-----

No.	項目	窓口コンシェルジュ化、親切な窓口づくり、証明書交付事務の適正化と効率化、番号制度導入にともなう適切な窓口対応
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市役所全体業務を把握し、来訪者へ適正な説明、案内に努め窓口コンシェルジュ化（区役所案内係）を推進します。 2 あいさつの励行、積極的な声かけ、丁寧な対応による親切な窓口づくりを推進します。 3 平成26年度から運用を開始した各窓口センター及び郵便局における証明書等交付事務について、事務の現状把握を行い迅速な処理と正確な事務を確保します。 4 番号制度導入にともない、事前準備・広報等による周知を行うとともに、窓口での適切な対応を行います。 	
	2. 実績（成果）	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口サービスについては、当課以外の業務への問い合わせや窓口への誘導を積極的に行いました。 ・窓口が混み合う場面を除き、職員の方からのお客様へ積極的な声かけを行いました。 ・5郵便局へ訪問し事務処理の状況を確認した結果、証明書交付事務は遺漏なく行われていました。 ・個人番号カードの交付事務にあたり、通知カードの返戻時の受け取り案内及び窓口でのマイナンバーカードの受け取り時の手続きについて市報で周知しました。 <p>（マイナンバーカードの普及率 平成30年5月末 対馬11.9% 全国平均11.2%）</p>
	3. 評価	○
		市民課員は市民への接遇に気を配り他部署への案内も積極的に行い、一応の成果が出たと考えます。
	4. 今後の展開	<ol style="list-style-type: none"> 1. 課員は、各自担当分野の知識を深め、市民のお役に立てる窓口づくりを行います。 2. 各窓口センター、郵便局の証明書交付等は迅速かつ正確な事務を実現します。 3. 個人番号制度は、具体的な番号の使い方や利用場面などをわかりやすく広報していきます。

全体	19
個別	04-02

平成29年度 [市 民 生 活 部] 目標の成果

課 名	税 務 課
-----	-------

No.	項 目	滞納処分の強化																								
	1. 組 織 目 標																									
	<p>【 内 容 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞納者対策の強化として、厳正な滞納処分を実施するため、積極的に財産調査、預貯金調査、生命保険等の調査を行い、差押えの実施および滞納処分の停止等滞納整理の充実を図ります。 ・新規滞納者への早期接触をはかり、滞納の解消に努めます。 ・不動産の公売を強化します。 ・軽自動車税の徴収を強化します。 <p>【 指 標 】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">29年度目標</td> <td style="width: 15%;">市 税</td> <td style="width: 15%;">現年分徴収率</td> <td style="width: 15%;">97.90%</td> <td style="width: 15%;">前年度実績</td> <td style="width: 15%;">97.62%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>滞納分徴収率</td> <td>15.00%</td> <td>前年度実績</td> <td>11.86%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>国 保 税</td> <td>現年分徴収率</td> <td>92.50%</td> <td>前年度実績</td> <td>92.36%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>滞納分徴収率</td> <td>12.00%</td> <td>前年度実績</td> <td>10.02%</td> </tr> </table>	29年度目標	市 税	現年分徴収率	97.90%	前年度実績	97.62%			滞納分徴収率	15.00%	前年度実績	11.86%		国 保 税	現年分徴収率	92.50%	前年度実績	92.36%			滞納分徴収率	12.00%	前年度実績	10.02%	
29年度目標	市 税	現年分徴収率	97.90%	前年度実績	97.62%																					
		滞納分徴収率	15.00%	前年度実績	11.86%																					
	国 保 税	現年分徴収率	92.50%	前年度実績	92.36%																					
		滞納分徴収率	12.00%	前年度実績	10.02%																					
	2. 実 績 (成 果)																									
	平成29年度実績	目標徴収率に対する差																								
	市 税	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">現年分徴収率</td> <td style="width: 15%;">97.74%</td> <td style="width: 15%;">△ 0.16%</td> </tr> <tr> <td>滞納分徴収率</td> <td>10.25%</td> <td>△ 4.75%</td> </tr> </table>	現年分徴収率	97.74%	△ 0.16%	滞納分徴収率	10.25%	△ 4.75%																		
現年分徴収率	97.74%	△ 0.16%																								
滞納分徴収率	10.25%	△ 4.75%																								
	国 保 税	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">現年分徴収率</td> <td style="width: 15%;">92.66%</td> <td style="width: 15%;">0.16%</td> </tr> <tr> <td>滞納分徴収率</td> <td>9.81%</td> <td>△ 2.19%</td> </tr> </table>	現年分徴収率	92.66%	0.16%	滞納分徴収率	9.81%	△ 2.19%																		
現年分徴収率	92.66%	0.16%																								
滞納分徴収率	9.81%	△ 2.19%																								
	<p>差押実績 (平成29年度) (平成28年度) 増減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般 (預金・生命保険・給与等) 87 件 104 件 △ 17 件 ・不動産 (検索含む) 7 件 16 件 △ 9 件 計 94 件 120 件 △ 26 件 滞納処分の停止実績 322 件 234 件 88 件 口座引落件数 39,109 件 39,361 件 △ 252 件 不動産公売実績 12件中1件 9件中3件 																									
	3. 評 価	△																								
	<p>平成29年度の徴収率は、現年分市税97.74%、国保税92.66%で昨年を上回りましたが、繰越分については市税10.25%、国保税9.81%と昨年を下回り、総計では昨年を上回ったものの、現年分国保税以外は目標徴収率に届きませんでした。調定全体に対する滞納繰越分の占める割合が21.26%と依然として高いこともあり、徴収率が思うように伸びない状況です。</p> <p>国民健康保険税の徴収率は昨年に引き続き92%を上回っています。目標に掲げていた軽自動車税の徴収率も前年を上回る事ができましたが、同じく目標に掲げていた不動産公売については12件中1件のみと不振でした。これは差押不動産のうち公売に適したものが減少していることでもあります。人口減等により不動産自体の需要も減っているため、今後更なる検討が必要です。債権等の換価実績も減少しているため、換価が見込める預金・保険等の調査・差押を強化します。</p>																									
	4. 今 後 の 展 開																									
	<ul style="list-style-type: none"> ・新規滞納者への早期接触をはかり、滞納の解消および滞納世帯の減少に努めます。 ・滞納世帯の分析、実態の把握を行い、効率的な滞納整理に取り組めます。 ・長期差押不動産の換価価値について精査を行い、効率のよい滞納整理を行います。 ・現年分・繰越分合わせた未収額が、前年繰越額を上回らないよう努力します。 																									

全体	20
個別	04-03

平成29年度 [市民生活部] 目標の成果

課名	環境政策課
----	-------

No.	項 目	各種団体が連携したりサイクル、ゼロ・エミッションを推進します。
	1. 組織目標	
	<p>【 内 容 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみと廃食油資源の再利用システム事業に取り組みます。 ・生ごみ堆肥化推進等によるごみ量の削減を図ります。 ・生ごみ堆肥化の活動を行う各種団体を支援します。 <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ・廃食油資源再利用システム事業の実施（回収世帯：3,000世帯） ・生ごみ等堆肥化推進によるごみ量の削減（生ごみ回収量：300t） 	
	2. 実績（成果）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ・廃食油資源再利用システム実証実験事業の実施（回収世帯：世帯、週2回実施） ・生ごみ堆肥化推進等によるごみ量の削減（生ごみ削減量：約252t） 	
	3. 評 価	△
		<p>平成28年度に引き続き、平成29年度も生ごみ・廃食油資源再利用システム事業に取り組み、1,656世帯、週2回の回収を実施しました。今年度の生ごみ回収量も前年度より増加し、約252tとなっており、その分ごみ量の削減にも繋げることができました。しかしながら、目標としていた3,000世帯、生ごみ回収量300tには届かなかったため、平成30年度は再度市内全地区へ協力世帯の募集を行うとともに、広報誌やCATV等の媒体を活用し、事業説明と周知を行います。また、回収量の増加を図るため、市内の事業所に対して事業協力依頼を行います。</p>
	4. 今後の展開	
		<p>平成30年度も引き続き、生ごみ等の分別収集及び堆肥化に取り組み、将来的な市内全域での回収に向けて収集体制の構築を図るとともに、回収した生ごみ等については、「生ごみ等堆肥化施設」において堆肥化に取り組み、堆肥の品質及び供給体制の確立を図っていきます。</p>

全体	21
個別	04-04

平成29年度 [市民生活部] 目標の成果

課名	環境政策課
----	-------

No.	項目	漂流・漂着ごみの回収と発生抑制対策を推進します。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海岸漂着物処理推進法及び長崎県海岸漂着物等地域対策推進事業補助金を活用し、漂着物被害が著しい海岸を中心に海岸漂着物の円滑な処理を進めていきます。 ・海岸漂着物等の発生抑制のための関係者間の連携・交流等を目的とした環境学習を広く開催します。（日韓市民ビーチクリーンアップ事業等） <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度に実施した長崎県海岸漂着物等地域対策推進事業補助金による漂着物の回収・処理を参考に漂着ごみの計画的な回収を実施します。 ・日韓市民ビーチクリーンアップ事業及び漂着ごみ回収イベントを実施します。（2回） ・海岸漂着物回収、処理予定数量：トン袋で17,000袋 	
	2. 実績(成果)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の海岸漂着ごみについては、長崎県海岸漂着物等地域対策推進事業補助金を活用しながら、トン袋で9,846袋の漂着ごみを回収しました。 ・2017日韓市民ビーチクリーンアップ事業の実施（平成29年11月11日に韓国釜山外大の学生、市民等249名が参加し、トン袋で78袋の漂着ごみを回収しました。） ・第5回日韓海岸清掃フェスタIN対馬事業の実施（平成29年9月17日に対馬市と市民活動団体の共同主催で実施しましたが、悪天候(台風18号)の影響により中止となりました。（2年連続での悪天候による中止となり、天候等を考慮し来年度は7月開催で予定しております。） 	
	3. 評価	○
	<p>平成29年度も長崎県海岸漂着物等地域対策推進事業補助金を活用し、大規模な海岸漂着物の回収を行い、海岸環境や景観に対し一定の成果を得られました。また、韓国釜山外大生との海岸漂着物回収イベント「日韓市民ビーチクリーンアップ事業」を開催し、海岸漂着物の発生抑制対策が図られました。なお、新たな取り組みとして、漂着ごみのトランクミュージアムを活用し、小学校に出向き環境教育の一環として、講義を開きました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>漂着ごみ対策は大規模な回収等により、一定の成果はあがっているものの、現状は漂着、回収の繰り返しであり、今後も継続的な漂着ごみの回収に取り組んでいかなければなりません。回収、処理経費の対応のため、引き続き、国、県による財政支援を要望していきます。</p> <p>また、漂着ごみ対策の根幹である発生抑制対策に向けた取り組みも必要であり、「日韓市民ビーチクリーンアップ事業」など、国際交流事業等を通じて今後も継続的に普及、啓発に取り組んでいきます。</p>	

全体	22
個別	04-05

平成29年度 [市民生活部] 目標の成果

課名	美津島行政サービスセンター
----	---------------

No.	項 目	市民ニーズの高度・多様化に応じた体制づくりの強化
	1. 組織目標	<p>【内容】 情報化社会の進展により、各種制度等についての市民の理解度の高まりから、最も多くの市民が利用する窓口として、複雑多様化する市民サービスに応え、市民満足度の向上を図るため、職員一人ひとりの資質を高めることにより、親切丁寧な窓口サービスを実現します。</p> <p>また、少子高齢化の進行など社会環境が大きく変化している中で、窓口対応全般において、速さや正確さだけでなく、これまで以上にプライバシー保護への配慮や市民一人ひとりの尊厳を尊重した、より親身な対応と行政として説明責任を徹底します。</p> <p>【指標】 ※苦情「ゼロ」に向けた体制づくり ○複数の関係課による互いの所管業務内容の把握及び積極的な情報の共有化を推進した緊密な連携 ○自己業務だけに止まらず、他者業務への理解と協力 ○担当業務を熟知し責任感をもって、市民の立場に立った迅速な対応 ○窓口・電話等の接遇マナー研修への参加及び実施</p>
	2. 実績(成果)	<p>・昼休み時の窓口対応を含め、各職員が総合的に窓口対応することにより、担当外の業務に係る知識や情報の習得については、一定の向上が図られました。</p>
	3. 評価	○
		<p>・前年に比し、より多くの職員の窓口業務対応が可能となり、効率化が図られました。</p> <p>・窓口の業務処理の円滑化により、苦情「ゼロ」とは到達しなかったもののトラブル等が減少し、対応の向上が見られました。</p>
	4. 今後の展開	<p>・窓口アンケート等を行い、また、各業務について確認事項チェックシートや、事務処理要領を作成し、『間違えない窓口』、『待たせない窓口』を目指します。</p>

全体	23
個別	04-06

平成29年度 [市民生活部] 目標の成果

課名	美津島行政サービスセンター
----	---------------

No.	項 目	各種収納率の向上と徴収の徹底																
	1. 組織目標																	
		<p>【 内 容 】</p> <p>健全な財政運営を確保するため、公平・公正な収納業務を推進し、財源の根幹である各収入の確保を図ります。</p> <p>(税) ①納税相談(国保税短期証更新時含む)・納税催告の推進 ②財産調査と早期の差押</p> <p>(水道) 滞納者への給水停止の強化</p> <p>(市営住宅・保育料) 収納率100%の維持確保</p> <p>(共通)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徴収強化月間の設定(夜間徴収) ・滞納の早期発見と早期対応への徹底 ・分納対象者の履行確認等 ・口座振替の推進 <p>【 指 標 】</p> <p>(目標)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">税</td> <td style="width: 20%;">現年収納率</td> <td style="width: 10%;">93.15%</td> <td style="width: 70%;">(平成30年5月末)</td> </tr> <tr> <td>水道</td> <td>現年収納率</td> <td>97.50%</td> <td>(平成30年3月末)</td> </tr> <tr> <td>市営住宅</td> <td></td> <td>100.00%</td> <td>(平成30年5月末)</td> </tr> <tr> <td>保育料</td> <td></td> <td>100.00%</td> <td>(平成30年5月末)</td> </tr> </table>	税	現年収納率	93.15%	(平成30年5月末)	水道	現年収納率	97.50%	(平成30年3月末)	市営住宅		100.00%	(平成30年5月末)	保育料		100.00%	(平成30年5月末)
税	現年収納率	93.15%	(平成30年5月末)															
水道	現年収納率	97.50%	(平成30年3月末)															
市営住宅		100.00%	(平成30年5月末)															
保育料		100.00%	(平成30年5月末)															
	2. 実績(成果)																	
		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">税</td> <td style="width: 20%;">現年収納率</td> <td style="width: 10%;">92.98%</td> <td style="width: 70%;">(平成30年5月末現在)</td> </tr> <tr> <td>水道</td> <td>現年収納率</td> <td>96.03%</td> <td>(平成30年3月末現在)</td> </tr> <tr> <td>市営住宅</td> <td></td> <td>100.00%</td> <td>(平成30年5月末現在)</td> </tr> <tr> <td>保育料</td> <td></td> <td>100.00%</td> <td>(平成30年5月末現在)</td> </tr> </table>	税	現年収納率	92.98%	(平成30年5月末現在)	水道	現年収納率	96.03%	(平成30年3月末現在)	市営住宅		100.00%	(平成30年5月末現在)	保育料		100.00%	(平成30年5月末現在)
税	現年収納率	92.98%	(平成30年5月末現在)															
水道	現年収納率	96.03%	(平成30年3月末現在)															
市営住宅		100.00%	(平成30年5月末現在)															
保育料		100.00%	(平成30年5月末現在)															
	3. 評価	△																
		<p>市営住宅及び保育料は、目標どおり収納率を達成できました。税については、前年より収納率は向上しましたが、目標の率に達成することはできませんでした。また、水道の徴収に関しては、会計統合により増加した滞納分へ照準をおいたため、現年分が手薄となり収納率が減少しました。結果、目標率を達成することができませんでした。</p>																
	4. 今後の展開																	
		<p>100%の収納率を達成したものは、引き続き維持に努め、そうでないものについては、収納業務体制の見直しを行い、収納対策強化を取組み、収納率向上を図ります。それにより、財政運営の向上と安定を図ります。</p>																

全体	24
個別	05-01

平成29年度 [福祉保険部] 目標の成果

課名	福祉課
----	-----

No.	項目	高齢者・障がい者の生きがいの創出
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉サービス 在宅の高齢者が自立した生活を安心して送ることができるよう、環境整備と生活支援の推進を図ります。また、高齢者が地域で安心して暮らし続けるため、高齢者虐待防止ネットワークの活用を図ります。 ・障がい者福祉サービス 障がいのある方が安心して生活を営むことができるよう各種サービスの充実を図ります。 <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉サービス 高齢者が健康でいきいきした生活を送ることができるよう、在宅高齢者福祉サービス（高齢者生活支援事業・福祉のまちづくり推進事業）の充実を図ると共に高齢者虐待の発生予防・早期発見及び的確な援助を図り、高齢者の孤独死「ゼロ」を目指します。 ・障がい者福祉サービス 障がい者が地域において自立した日常生活及び社会生活を営むための各種サービスの充実と複雑・多様化しつつある障がい者のニーズに対し、柔軟に対応できるよう職員の育成に努め、苦情「ゼロ」を目指します。 	
	2. 実績（成果）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉サービス 関係機関と連携を密にし、平成29年度において、食の自立支援（配食サービス）延べ34,303回、生きがい活動支援（デイサービス）延べ375回、軽度生活援助（ホームヘルパー）、延べ175時間の助成を行いました。 ・障がい者福祉サービス 複雑・多様化する障害者のニーズに対応するため、平成27年3月に第4期対馬市障害福祉計画、平成28年3月に第2期対馬市障害者計画を策定し、障がいのある方が安心して生活を営むことができる支援体制づくりに努めています。 	
	3. 評価	○
	<p>高齢者福祉サービスについては、高齢者と直接対峙する機会を増すことで安否確認を行い、高齢者の孤独死を未然に防ぐことに繋がっています。また、障がい福祉サービスにおいては、職員の研修会等の参加により、知識と意識を高め、障がいをお持ちの方が安心してサービスが受けられるよう、関係機関と連携を図り、スムーズな事務処理に心がけました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>高齢化の進展に伴い、一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみの世帯が増加していくことが推測されることから、高齢者が安心して生活ができる地域づくりを目指し、関係行政機関や市内外の様々な関係施設等との連携体制を図り、サービスの空白地をなくす支援体制の整備に努めてまいります。</p> <p>複雑・多様化しつつある障がい者ニーズに対し、柔軟に対応できる庁内体制を整備するため、各種研修の充実等を図り、職員の福祉意識の向上に努めます。</p>	

全体	25
個別	05-02

平成29年度 [福祉保険部] 目標の成果

課名	こども未来課
----	--------

No.	項目	入所保留（待機）児童の解消
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>保育室等の面積要件により保育所への入所を保留（待機）している児童を、近隣の保育所の保育士を基準数を満たす人員を確保し、近隣保育所への入所を案内することにより入所保留（待機）児童の解消を図り、子育てしやすい環境を整備します。</p> <p>【指標】</p> <p>【入所保留（待機）児童数】</p> <p> 雑知保育所：4名 比田勝こども園：3名 計7名</p>	
	2. 実績（成果）	
		<p>入所保留（待機）となっていた全ての児童を近隣の保育所へ案内し、保護者の理解を得て入所いただき、入所（待機）児童ゼロを達成できました。</p>
	3. 評価	○
		<p>共働き家庭の増加や地域情勢の変動などにより、保育所への需要が集中している中において、保育士の配置など対応が後手に回っている状況ですが、保護者のご理解のもと入所保留（待機）児童を解消できました。</p>
	4. 今後の展開	
		<p>慢性的な保育士不足の解消のため、CATVや市報を積極的に活用し、保育士の確保に努めます。また、保育室等の面積要件については、近隣の保育所の統合による認定こども園への移行検討や地域情勢を把握した配置計画の見直し検討を行います。</p>

全体	26
個別	06-01

平成29年度 [健康づくり推進部] 目標の成果

課名	いきいき健康課
----	---------

No.	項目	市民健診の受診率向上
	1. 組織目標	<p>【内容】 対馬市特定健診・保健指導プログラムに基づき、特定健診受診率の向上を図ることで健康への意識付けを行い健康寿命の延伸につなげます。</p> <p>【指標】 ・特定健診受診率40%をめざします。 ・受診勧奨広報活動につとめます。</p>
	2. 実績(成果)	<p>有線テレビ、市報等のメディアを活用した広報及び健診推進員による電話勧奨と臨戸訪問並びに21推進員やヘルスマイト等、地区組織を活用して受診勧奨の活動を展開したことで、未確定ではありますが37%弱となりました。</p>
	3. 評価	○
		<p>目標としている受診率40%に近づいた受診率を平成28年度に続き維持できました。</p>
	4. 今後の展開	<p>各旧町ごとの受診率を点検整理した結果、受診率の低い町、年代等が明確となりましたので、引き続き、市民健診の受診勧奨を地区に密着したヘルスマイトなど地区組織を活用しながら受診率の向上を目指します。</p>

全体	27
個別	06-02

平成29年度 [健康づくり推進部] 目標の成果

課名	いきいき健康課
----	---------

No.	項目	第2次健康つしま21計画の策定
	1. 組織目標	<p>【内容】 対馬市民に応じた健康増進支援で優先的に取り組む施策や事業の根拠にあたる計画です。平成29年度が健康つしま21（第1次）計画の最終年度となるため平成30年度からの第2次健康つしま21計画を策定します。</p> <p>【指標】 ・第2次健康つしま21計画を策定します。 ・策定委員会開催 年4回実施予定</p>
	2. 実績(成果)	<p>外部委員を含む10名で構成した「第2次健康つしま21計画策定委員会」を4回（11/8、1/24、2/24、3/7）開催し、平成30年度からの10年間の計画を平成30年3月に策定しました。また、この計画の概要版を全世帯に配布しました。</p>
	3. 評価	○
		策定したことで次年度以降の取り組む方策が明確になりました。
	4. 今後の展開	<p>対馬市の総合計画における施策のうちの市民の健康増進にかかる計画として、社会全体で個人の主体的な健康づくりを支援していくための行動目標として展開していきます。また、この目標については計画が策定されましたので終結とし、計画に基づいた活動は、5年後の中間評価に向け単年度目標として「受診率向上」とともに総合的に取り組みます。</p>

全体	28
個別	06-03

平成29年度 [健康づくり推進部] 目標の成果

課名	地域包括ケア推進課
----	-----------

No.	項目	介護予防自主活動の継続と拡大
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>平成28年度から始まった介護予防自主活動助成制度ですが28年度実績26団体の利用がありました。今年度は、まず、昨年度利用団体の継続利用を主眼に置き、新たな利用も拡大していきます。地域包括ケアシステムの推進を念頭に、健康寿命を延ばして元気な高齢者を増やすとともに、介護予防に取り組む地域コミュニティづくりの促進及び高齢者の生活機能の向上と地域での自立した生活の維持を図ります。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防自主活動助成制度利用団体数 30団体以上 ・前年度利用団体が継続して活動 26団体 	
	2. 実績(成果)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防自主活動助成制度利用団体数 38団体 ・前年度利用団体が継続して活動 26団体(全団体) 	
	3. 評価	◎
	<p>関係各課や団体の連携・協力により、目標を大きく上回る利用団体数となりました。特に、前年度の団体すべてが継続して活動していることは大きな成果と言えます。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>昨年度に引き続き、目標を上回る利用団体数を確保することができました。今後も、利用団体数の増加と活動の支援を継続することが重要であり、介護予防に取り組む地域コミュニティづくりの促進及び高齢者の生活機能の向上と地域での自立した生活の維持を図ります。</p>	

全体	29
個別	07-01

平成29年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	農 林 ・ し い た け 課
-----	-----------------

No.	項 目	對馬椎茸” やる倍” ナバダス計画総合対策支援事業
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <p>「對馬椎茸” やる倍” ナバダス計画」に基づき、計画的にしいたけ振興策を図ります。</p> <p>①生産者のやる気を倍増 価格の安定化(生しいたけ安定価格買取)</p> <p>②生産量を倍増 作業の効率化(生産団地・省力化機械器具導入、種駒補助制度)</p> <p>③系統(全農市場)外出荷量を倍増 分業化・安定供給(量、品質、納期)に向けたルールづくり</p> <p>【 指 標 】</p> <p>○大型生産団地導入支援 1団地 ○しいたけ生産推進 種駒補助 1,300万個 ○對馬しいたけ販路拡大流通体制構築支援 物産展40回 ○生産量 乾39.3トン 生73.1トン</p>	
	2. 実 績 (成 果)	
	<p>○大型生産団地導入支援 1団地 (對馬しいたけ協同組合) ○しいたけ生産推進 種駒補助987万個 ○對馬しいたけ販路拡大流通体制構築支援 物産展30回 ○生産量 乾32.1トン 生68.1トン</p>	
	3. 評 価	△
		<p>生産者の高齢化や後継者不足による生産者数の減を大きな理由として種駒補助の個数が目標を下回りましたが、對馬しいたけ協同組合の施設整備が行われたことにより将来的には植菌数及び生産量が増となる要因もあります。</p> <p>物産展についても回数は指標を下回りましたが、地道な営業活動により確実に販路は広がっています。</p>
	4. 今 後 の 展 開	
		<p>引き続き、「對馬椎茸” やる倍” ナバダス計画」に基づき、計画的に對馬しいたけの振興を図っていくこととし、生産量増・消費拡大・販路開拓に向けた取組みを行ってまいります。</p>

全体	30
個別	07-02

平成29年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	農 林 ・ し い た け 課
-----	-----------------

No.	項 目	市有林整備の推進による循環型森林資源活用のためのオフセット・クレジット提案事業
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <p>[市有林整備] 市有林及び分収林の森林整備を推進します。</p> <p>[J-VER制度関係] 市有林間伐による二酸化炭素吸収量のクレジット化と販売促進を行います。また、森林組合と協働し、私有林の整備によるクレジット発行も進めていきます。</p> <p>[基金の活用] 民有林を含め、森林整備促進のための新たな財源として活用します。また、森林づくり基本計画及び伐採ガイドラインの実行施策への財源として活用します。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>[市有林整備] ①森林整備面積：16ha（利用間伐） ②路網整備：L=3,000m</p> <p>[J-VER制度関係] ①クレジット売買のための企業訪問やイベントへの参加（5回） ②クレジット販売：100t-CO2（収入金：800千円） ③新規契約件数：3件</p> <p>[基金の活用] ①ツシマヤマネコの森林づくり事業委託料（1,500千円） ②森林環境に配慮した森林整備補助金（2,500千円）</p>	
	2. 実 績 (成 果)	
	<p>[市有林整備] ①森林整備面積：18.47ha（利用間伐） ②路網整備：L=1,868m</p> <p>[J-VER制度関係] ①クレジット売買のための企業訪問やイベントへの参加（2回） ②クレジット販売：60t-CO2（収入金：671千円） ③新規契約件数：2件</p> <p>[基金の活用] ①ツシマヤマネコの森林づくり事業委託料（1,485千円） ②森林環境に配慮した森林整備補助金（実績なし）</p>	
	3. 評 価	×
	<p>[市有林整備] 対馬市森林整備計画に基づいた間伐を実施しているところですが、整備面積は目標を上回ることができたものの、未だ分収林の契約未更新の箇所が多く存在しています。</p> <p>[J-VER制度関係] プロバイダー等が主催するマッチングイベントは国の助成制度の見直しにより、今年度も開催されませんでした。</p> <p>[基金の活用] 森林整備補助金の申請はなかったものの皆伐箇所は90件以上あることから、伐採ガイドラインの認識・周知不足が考えられます。</p>	
	4. 今 後 の 展 開	
	<p>適切な森林整備を進め森林環境の保全に努めるとともに、J-クレジット販売を促進するためにも、企業から関心を受けるような基金の活用による対馬市独自の施策を検討します。</p>	

全体	31
個別	07-03

平成29年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	農 林 ・ し い た け 課
-----	-----------------

No.	項 目	対馬猪鹿活用促進事業
	1. 組 織 目 標	
	【 内 容 】	<p>対馬猪鹿活用促進事業で、要請があった地区には直接出向き、防護柵の位置情報、捕獲情報等の有害鳥獣対策の現状を、地域住民にフィードバックする。対策の主体は地域であり、行政は対策をサポートするため蓄積された情報を根拠に効果的な体制づくりのサポートをします。(行政依存体質の脱却)</p> <p>被害対策を推進するための防護柵の整備については、新規柵の整備、居住区域内安全対策、家庭菜園等防護柵と、事業メニューが多く市民の理解度が低いことから、学習会開催時に被害対策についての正確な情報提供に努めます。</p> <p>また、有害鳥獣の資源活用として食肉加工品や皮革製品等に取り組み、食べて美味しい、使って楽しい等、市民が有害鳥獣対策に関わるきっかけをポジティブなイメージにするため、普及啓発活動を実施する。特に学校給食での食材利用や、市内飲食店での活用を促進し、地域食材としての食育と、担い手育成に繋げていきたいです。</p>
	【 指 標 】	<p>①地域主導の被害対策推進地区増加数：5地区</p> <p>②地区捕獲隊増加数：5地区</p> <p>③「イノシシ・シカに関する地区学習会」開催：5地区</p> <p>④有害鳥獣利活用及び人材・担い手（対馬の子ども達）育成 学校給食食材利用校：全校 総合的学習「有害鳥獣対策」開催：2校</p> <p>⑤各種防護対策の実施</p>
	2. 実 績 (成 果)	
		<p>①地域主導の被害対策推進地区増加数：2地区 (居住区域内安全対策として防護柵を集落周辺に設置)</p> <p>②地区捕獲隊増加数：5地区</p> <p>③「イノシシ・シカに関する地区学習会」開催：24箇所 ※農作物被害調査に基づき実施</p> <p>④学校給食食材利用校：全校（小学校20校 中学校13校） 総合的学習「有害鳥獣対策」開催：1校</p> <p>⑤各種防護対策の実施(国交付金、市単独補助事業を活用)</p>
	3. 評 価	○
		<p>地区捕獲隊の推進を行い、地域主導の被害対策の促進が出来ました。 今後も継続的な活動を行い防護と捕獲を推進します。</p>
	今 後 の 展 開	
		<p>捕獲隊については、地域が主体となり、農地や居住区域等を守っていけるように推進を行い、行政主体ではなく、あくまで地域が主役となるように推進を行います。</p> <p>資源活用については、多くの市民を巻き込んだ有害鳥獣対策を促進するためのツールとして、積極的に取り組み、さらには、対馬の新たな産業、雇用創出に繋がり、地域を護る事がお金になる仕組みを構築する事が望まれます。</p>

全体	32
個別	07-04

平成29年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	農 林 ・ し い た け 課
-----	-----------------

No.	項 目	学校給食地場農林水産物導入事業														
	1. 組 織 目 標															
	<p>【 内 容 】</p> <p>学校給食での地場農林水産物利用に係る食材供給について、特産・推奨品である椎茸・あか牛・野菜及び水産物購入への支援を行います。また、この事業を活用してたまねぎ・じゃがいもを安定供給するための事業を試験的に実施します。</p> <p>【 指 標 】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">28年度（使用割合）</td> <td style="text-align: center;">29年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ たまねぎ</td> <td style="text-align: center;">4287kg (27.0%)</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="text-align: center;">4500kg</td> </tr> <tr> <td>・ じゃがいも</td> <td style="text-align: center;">2559kg (30.3%)</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="text-align: center;">3000kg</td> </tr> </table> <p>学校給食に地場産品を使用する割合：重量比</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米 年40回 ・ 野菜 ※ 30% <li style="padding-left: 20px;">うち、アスパラガス 60% <li style="padding-left: 40px;">たまねぎ 40% <li style="padding-left: 40px;">じゃがいも 40% </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ しいたけ 100% ・ 海藻類 年30回以上 ・ 魚介類 年35回以上 </td> </tr> </table> <p>※野菜は、しいたけ・果物を除くすべての野菜</p>		28年度（使用割合）	29年度		・ たまねぎ	4287kg (27.0%)	→	4500kg	・ じゃがいも	2559kg (30.3%)	→	3000kg	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米 年40回 ・ 野菜 ※ 30% <li style="padding-left: 20px;">うち、アスパラガス 60% <li style="padding-left: 40px;">たまねぎ 40% <li style="padding-left: 40px;">じゃがいも 40% 	<ul style="list-style-type: none"> ・ しいたけ 100% ・ 海藻類 年30回以上 ・ 魚介類 年35回以上 	
	28年度（使用割合）	29年度														
・ たまねぎ	4287kg (27.0%)	→	4500kg													
・ じゃがいも	2559kg (30.3%)	→	3000kg													
<ul style="list-style-type: none"> ・ 米 年40回 ・ 野菜 ※ 30% <li style="padding-left: 20px;">うち、アスパラガス 60% <li style="padding-left: 40px;">たまねぎ 40% <li style="padding-left: 40px;">じゃがいも 40% 	<ul style="list-style-type: none"> ・ しいたけ 100% ・ 海藻類 年30回以上 ・ 魚介類 年35回以上 															
	2. 実 績 (成 果)															
	<p>需給システム構築のため、農協、振興局、給食栄養士及び市で協議を行いました。</p> <p style="text-align: center;">29年度（使用割合）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たまねぎ 4816.8kg (30.5%) ・ じゃがいも 2367.6kg (29.7%) <p>学校給食に地場産品を使用する割合：重量比</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米 年60.6回 ・ 野菜 ※ 14.9% <li style="padding-left: 20px;">うち、アスパラガス 79.3% <li style="padding-left: 40px;">たまねぎ 30.5% <li style="padding-left: 40px;">じゃがいも 29.7% </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ しいたけ 96.5% ・ 海藻類 年41.4回 ・ 魚介類 年32.5回 </td> </tr> </table> <p>※野菜は、しいたけ・果物を除くすべての野菜</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米 年60.6回 ・ 野菜 ※ 14.9% <li style="padding-left: 20px;">うち、アスパラガス 79.3% <li style="padding-left: 40px;">たまねぎ 30.5% <li style="padding-left: 40px;">じゃがいも 29.7% 	<ul style="list-style-type: none"> ・ しいたけ 96.5% ・ 海藻類 年41.4回 ・ 魚介類 年32.5回 													
<ul style="list-style-type: none"> ・ 米 年60.6回 ・ 野菜 ※ 14.9% <li style="padding-left: 20px;">うち、アスパラガス 79.3% <li style="padding-left: 40px;">たまねぎ 30.5% <li style="padding-left: 40px;">じゃがいも 29.7% 	<ul style="list-style-type: none"> ・ しいたけ 96.5% ・ 海藻類 年41.4回 ・ 魚介類 年32.5回 															
	3. 評 価	△														
	<p>たまねぎとじゃがいもの供給は、たまねぎは目標を達成しましたが、じゃがいもは昨年の使用量よりも減りました。その他の地場産品使用割合は海藻類、米は目標を達成し、前年よりも使用回数が増えました。しかし、水産物の不漁により魚介類の使用回数は目標を下回りました。野菜全体の使用割合も依然として少ない状況であり、唯一アスパラガスだけが目標を達成しています。</p>															
	4. 今 後 の 展 開															
	<p>地場産野菜の使用割合を高めるため、農家や農協に協力を仰ぎながら、安定して供給出来る体制を整えて、目標達成に向けて取り組みます。</p>															

全体	33
個別	07-05

平成29年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	農 林 ・ し い た け 課
-----	-----------------

No.	項 目	対馬の農林水産業担い手・『林業女子』育成及び『人財』発掘事業
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <p>市の基幹産業である漁業、林業等において、生産者の高齢化及び後継者不足により新規の担い手確保が急務です。農林産業分野の事業者、漁協等の団体、市が一体となって新規就業のための移住相談会への参加及び合同面談会を開催し、就業意向者と事業者側のマッチングの機会及び新規参入者向けの説明会などを実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業検討部会及び採用者向け研修会開催 ○農林水産業職業紹介映像制作 ○移住相談会及び合同企業面談会におけるポスター、チラシ作成 ○都市部及び対馬市内における移住相談会出席及び合同企業面談会開催 ○林業新規正規雇用従事者の人件費及び研修費等の一部助成 <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新規林業従事者 5 名 ○新規漁業従事者 3 名 <li style="padding-left: 20px;">計 8 名
	2. 実 績 (成 果)	<ul style="list-style-type: none"> ○事業検討会及び採用者向け研修会 4 回開催 ○移住相談会参加及びお盆時期合同企業面談会開催 10 回参加及び 1 回開催 ○新規農林水産業就業者向けパンフレット制作及び新規林業従事者勧誘のぼり・マグネット制作 ○新規農林水産業従事者 26 名（うち農業 3 名、森林整備業 7 名、製材加工業 8 名、水産業 8 名）（うち I ターン 7 名、U ターン 他 19 名）
	3. 評 価	○
		○指標を大きく上回る新規農林水産業従事者の確保及び育成ができました。
	4. 今 後 の 展 開	<p>今後も移住相談会&企業面談会等を通して、企業と就業希望者とのマッチングを図り、担い手・後継者の育成及び確保に努めます。また、ホームページ等を開設していないなど情報発信できていない参加企業が大半であることから、島外対策として市内参加企業の情報発信に努めます。企業面談会等に参加する企業へ、登録無料の長崎県が運営する就職応援サイト「Nなび」や長崎インターンシップ推進協議会への登録を参加企業へ働きかけます。</p>

全体	34
個別	07-06

平成29年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	水 産 課
-----	-------

No.	項 目	水産物の輸送費補助
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産物を島外へ出荷する際の輸送コスト及び、餌移入に係る経費を財政的に支援することで、漁業者の所得安定及び減少に歯止めをかけ、漁業の発展へ繋がります。 <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・158万2千箱以上分の輸送及び餌移入の助成を行い、漁業者の負担軽減を図ります。
	2. 実 績 (成 果)	<ul style="list-style-type: none"> ・137万5千箱に対して支援を実施しました。
	3. 評 価	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; width: 50px; margin: 0 auto;">△</div> <p>・目標値に対し13.1%の減となりましたが、従来の島内12漁協に加え民間17事業所の参入により、海上輸送のみから空路輸送・餌料移入を含め、より多くの漁業者・事業者の負担を軽減することができました。</p>
	4. 今 後 の 展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度からの補助制度の変更に伴う、海上輸送・空路輸送・餌の海上移入の助成及び補助率のアップにより、漁業者のさらなる意欲向上につながられるよう取り組んでいきます。

全体	35
個別	07-07

平成29年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	水 産 課
-----	-------

No.	項 目	海洋保護区の設定
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <p>水産資源の持続的利用と伝統的な漁業の継承を図るために「海洋保護区」の設定を目指します。設定推進協議会は、科学的根拠に基づく科学委員会の答申や漁業者、関係団体等からの意見を検討して、区域設定や区域内の資源管理計画を策定し、国や県などに働きかけて対馬らしい海洋保護区の設定を目指します。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>① 「(仮称)対馬海洋保護区管理計画」等の策定に向け、情報収集・整理等を行います。</p> <p>② 藻場再生を図る取組の一環として、食害魚の一斉駆除を実施します。</p> <p>③ 対馬の海の幸を守るため、磯資源利用状況調査を行い、対馬の海を知る教材を作製します。</p> <p>④ 九州大学等外部研究機関との連携を深めます。</p> <p>⑤ 資源管理活動のデータ化を行います。</p>	
	2. 実 績 (成 果)	
	<p>① 「(仮称)対馬海洋保護区管理計画」等の策定に向け、情報収集・整理等を行いました。</p> <p>② 島内の漁業集落及び活動組織に協力いただき、食害魚の一斉駆除を実施しました。</p> <p>③ 対馬の海の幸を守るため、対馬の海を知る教材として、対馬魚類図鑑、磯焼け特集番組等を作製しました。</p> <p>④ 九州大学等外部研究機関と連携し、ブランド魚の付加価値向上等の研究に取り組みました。</p> <p>⑤ 資源管理活動のデータ化に向け、データ整理に着手しました。</p>	
	3. 評 価	○
	<p>対馬版海洋保護区設定に向け、まずは共同漁業権海域を対象とした基本計画：対馬海洋保護区「しまうみ」管理計画案と実行計画：水産資源管理計画【磯資源】案及び対馬沿岸藻場再生計画案を作成しました。</p> <p>藻場再生の取組の一環として実施した食害魚の一斉駆除では、多くの漁業集落、活動組織にご協力いただき、イスズミ、アイゴ等の食害魚を除去し藻場の保全に努めました。</p> <p>そのほか、対馬の豊かな海の魅力及び重要性を市内外に啓発するため「対馬市国境の島・海の魅力発信隊」を設置しました。</p>	
	4. 今 後 の 展 開	
	<p>引き続き対馬版海洋保護区設定に向け、水産資源の適切な管理や藻場の保全・再生等、できることから取り組んでいきます。また、対馬の豊かな海の魅力及び重要性について広く市内外にPRします。</p>	

全体	36
個別	07-08

平成29年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	基 盤 整 備 課
-----	-----------

No.	項 目	基盤整備工事の早期発注、早期完成
	1. 組 織 目 標	
	【 内 容 】	公共工事の早期発注、完成を図るため、12月末まで委託業務完了100%を目指します。 事業効果の早期発現を図るため、12月末まで工事執行100%を目指します。
	【 指 標 】	
	平成29年12月 委託業務完了予定額	100%目標 (223百万円)
	平成29年12月 委託業務完了予定件数	委託 16件
	平成29年12月 工事執行予定額	100%目標1,085百万円)
	平成29年12月 工事執行予定件数	工事 20件
	2. 実 績 (成 果)	
	平成29年12月 委託業務完了額	実績額 204百万円中、95百万円 46.6%
	平成29年12月 委託業務完了件数	実績件数 18件中、12件 66.7%
	平成29年12月 工事執行額	実績額 1,289百万円中、1,058百万円 82.1%
	平成29年12月 工事執行件数	実績件数 23件中、20件 87.0%
		漁港事業においては、新規着手工種が多数発生したことにより、設計協議に日数を要し進捗が遅れました。また、工事については諸手続きの遅延や、同一工種における前年度繰越工事の工期制約を受けたため執行が遅延しましたが、繰越工事は縮減傾向にあります。 林道事業については、目標を達成することが出来ました。
	3. 評 価	△
		早期着工については、国の早着認可制度等を利用して行いましたが、新規着手工種の許認可事務及び、測量、調査、設計等の委託業務や地元協議に時間を要した事により、本工事着手が遅れ目標100%達成が出来ませんでした。
	4. 今 後 の 展 開	
		未着手分の早期着工及び新規工種の断面決定を行い、計画的に各種事務処理手続きを完了させ、工事の早期完成を目指します。 また、地元要望に迅速に対応するため、関係者と連携を取りながら適切かつ有効な事業計画の立案に努めます。

全体	37
個別	08-01

平成29年度 [建設部] 目標の成果

課名	管理課
----	-----

No.	項 目	市営住宅使用料未収金の縮小																						
	1. 組織目標																							
	<p>【 内 容 】</p> <p>市営住宅家賃滞納整理事務要綱に基づき未収額の縮小に努めます。</p> <p>【 指 標 】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">現年分</td> <td style="width: 15%;">98.50%</td> <td style="width: 15%;">滞納分</td> <td style="width: 15%;">42.25%</td> <td style="width: 15%;">計</td> <td style="width: 15%;">90.00%</td> </tr> </table>	現年分	98.50%	滞納分	42.25%	計	90.00%																	
現年分	98.50%	滞納分	42.25%	計	90.00%																			
	2. 実績(成果)																							
	<p>市営住宅使用料の徴収率</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">現年分</td> <td style="width: 15%;">96.16%</td> <td style="width: 15%;">滞納分</td> <td style="width: 15%;">15.08%</td> <td style="width: 15%;">計</td> <td style="width: 15%;">83.62%</td> </tr> </table> <p>市営住宅使用料</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 15%;">現年分</th> <th style="width: 15%;">滞納分</th> <th style="width: 15%;">合計 (単位:円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調定額 (現年・滞納)</td> <td style="text-align: right;">139,424,200</td> <td style="text-align: right;">25,504,280</td> <td style="text-align: right;">164,928,480</td> </tr> <tr> <td>収入実績</td> <td style="text-align: right;">134,063,900</td> <td style="text-align: right;">3,845,600</td> <td style="text-align: right;">137,909,500</td> </tr> <tr> <td>徴収率</td> <td style="text-align: right;">96.16%</td> <td style="text-align: right;">15.08%</td> <td style="text-align: right;">83.62%</td> </tr> </tbody> </table>	現年分	96.16%	滞納分	15.08%	計	83.62%		現年分	滞納分	合計 (単位:円)	調定額 (現年・滞納)	139,424,200	25,504,280	164,928,480	収入実績	134,063,900	3,845,600	137,909,500	徴収率	96.16%	15.08%	83.62%	
現年分	96.16%	滞納分	15.08%	計	83.62%																			
	現年分	滞納分	合計 (単位:円)																					
調定額 (現年・滞納)	139,424,200	25,504,280	164,928,480																					
収入実績	134,063,900	3,845,600	137,909,500																					
徴収率	96.16%	15.08%	83.62%																					
	3. 評価	△																						
	<p>・滞納者に対し、文書による督促事務を行い、納付依頼を実施致しました。また、個別訪問による徴収も実施しております。</p> <p>・督促文書送付で未払い者(退去者問わず)に対し、訪問・文面による納付確約又は連帯保証人へ納付指導を行いました。</p> <p>以上の事務の徹底により、長年徴収できていなかった退去滞納者へコンタクトをとり、滞納額が徐々に減ってきたのは一定の前進と考えます。</p>																							
	4. 今後の展開																							
	<p>・引き続き、年間を通しての対面による納付依頼の強化し、納付対策に取り組みます。</p>																							

全体	38
個別	08-02

平成29年度 [建設部] 目標の成果

課名	建設課
----	-----

No.	項目	公共工事の早期発注、早期完成に努めます。
	1. 組織目標	
	【内容】	公共工事の早期着工に努めることにより、市の経済流通の初動を促進し、市民生活の活性化とともに、早期完成によって市民の生活基盤の底上げを図ります。
	【指標】	平成29年度12月末設計書作成件数及び予定額（測量・調査・設計） 6件 45百万円 《100%目標》 平成29年度12月末設計書作成件数及び予定額（工事） 10件 683百万円 《100%目標》
	2. 実績（成果）	
		（測量・調査・設計） 平成29年度12月末設計書作成件数 14件 平成29年度12月末発注額 61百万円 （工事） 平成29年度12月末設計書作成件数 22件 平成29年度12月末発注額 798百万円 ※災害発生件数 道路1件、河川1件 査定額 160百万円
	3. 評価	◎
		組織目標に掲げた設計書作成件数につきましては、委託及び工事ともに、目標以上の成果をあげることができました。また、発注額につきましても、委託・工事とも、目標額を上回ったほか、8月と10月に発生した災害（2件）への対応も行っており、目標を上回る成果であったと考えます。繰越事業費も、大型事業（国内カーピル建設など）がある中で、前年より減少しています。 参考として、昨年度の総発注件数（委託及び工事）114件中依頼関係が68件あり、うち61件を12月末までに発注しています。
	4. 今後の展開	
		公共工事の早期着工に努めることにより、市の経済流通の初動を促進し、市民生活の活性化とともに、早期完成によって、市民の生活基盤の底上げを図るものことから、今後におきましても早期発注、早期完成に努めます。

全体	39
個別	09-01

平成29年度 [水道局 (部)] 目標の成果

課名	水道課
----	-----

No.	項目	水道料金の収納率向上																		
	1. 組織目標																			
	<p>【内容】 経営の効率化と健全な事業運営を図るためには、水道料金の収納率向上は喫緊の課題であり、今年度も前年度に引き続き、新規滞納者の発生予防、納付確約(分納)の取り組み強化、給水停止の強化に取り組めます。</p> <p>【指標】 収納率(現年度分) ・対馬市水道事業 97.0% (前年度実績 96.5%)</p>																			
	2. 実績(成果)																			
	<p>収納率</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>対前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">対馬市水道事業</td> <td>現年度分</td> <td>96.77%</td> <td>96.95%</td> <td>△0.18%</td> </tr> <tr> <td>過年度分</td> <td>59.62%</td> <td>43.88%</td> <td>15.74%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>95.20%</td> <td>94.54%</td> <td>0.66%</td> </tr> </tbody> </table>			平成29年度	平成28年度	対前年度比	対馬市水道事業	現年度分	96.77%	96.95%	△0.18%	過年度分	59.62%	43.88%	15.74%	計	95.20%	94.54%	0.66%	
		平成29年度	平成28年度	対前年度比																
対馬市水道事業	現年度分	96.77%	96.95%	△0.18%																
	過年度分	59.62%	43.88%	15.74%																
	計	95.20%	94.54%	0.66%																
	3. 評価	△																		
	<p>滞納者に対し、定期的に督促及び催告を実施し、また、給水停止等の措置を講じましたが、前年度を0.18%下回り、目標にも0.23%到達することができませんでした。</p>																			
	4. 今後の展開																			
	<p>今後も、滞納者に対しての督促、催告等の納付指導を継続して行い、また、長期(3ヶ月以上)の滞納者に対しては、給水停止の措置を強化し、納付意識の高揚に努めていきます。</p>																			

全体	40
個別	09-02

平成29年度 [水道局 (部)] 目標の成果

課名	水道課
----	-----

No.	項目	水道事業の有収率向上						
	1. 組織目標							
		<p>【内容】 有収率の向上は、水道事業の経営安定化のためには、必要不可欠な問題となっております。今後、年次的に配水管等の漏水対策を行い、有収率の向上に努めていきます。</p> <p>【指標】 有収率 ・平成29年度有収率 69.5%以上 ・平成32年度有収率 70.0%以上</p>						
	2. 実績(成果)							
		<p>有収率</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>対前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">71.27%</td> <td style="text-align: center;">69.22%</td> <td style="text-align: center;">2.05%</td> </tr> </tbody> </table>	平成29年度	平成28年度	対前年度比	71.27%	69.22%	2.05%
平成29年度	平成28年度	対前年度比						
71.27%	69.22%	2.05%						
	3. 評価	<input type="radio"/>						
		<p>配水管等の漏水対策や老朽管の布設替えを行った結果、前年度を2.05%上回り、目標に対しても1.77%上回ることで目標を達成をすることができました。</p>						
	4. 今後の展開							
		<p>今後も、年次的に配水管等の漏水対策を実施し、更なる有収率の向上に努め、有収率70%以上維持することを目指します。</p>						

全体	41
個別	10-01

平成29年度 [中 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	地 域 振 興 課
-----	-----------

No.	項 目	中対馬未来づくりアクションプランの策定
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <p>中対馬地区を今後の対馬の発展における重要な地区と位置づけ、様々な分野において好循環をもたらす環境整備を行うため、観光整備を基軸とした総合計画を策定します。</p> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・策定委員会 3回 ・基本方針の検討1回、全体構想の検討1回、事業計画の検討1回 ・最終調整 	
	2. 実 績 (成 果)	
	<p>当初の指標（数値目標）に、策定委員会を1回、地域住民ヒアリングを3回、事業者ヒアリングを1回追加し、平成30年3月に中対馬未来づくりアクションプランを策定しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・策定委員会 4回 ・基本方針、全体構想、事業計画の検討 各1回 ・地域住民ヒアリングを実施 3回（東部中学校区・西部中学校区、豊玉中学校区、浅海中学校区） ・事業者ヒアリングを実施 1回 	
	3. 評 価	◎
	<p>策定委員会委員だけで策定を進めるのではなく、地域資源等の状況を把握するため、現地調査及び地域住民・事業者から情報収集や要望等の確認を行うことで、地域の課題等が明確になるとともに、より中対馬地区市民の意向を反映した具体性のある計画を策定することができました。</p>	
	4. 今 後 の 展 開	
	<p>策定した「中対馬未来づくりアクションプラン」を実現化するため、整備スケジュールに基づいて、短期に整備可能な個別事業から検討していきます。</p>	

全体	42
個別	10-02

平成29年度 [中 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	住 民 生 活 課
-----	-----------

No.	項 目	適正な窓口業務、管轄地区内の環境美化
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <p>①窓口業務における市民の満足度の向上を図ります。</p> <p>②ごみ分別の徹底及び不法投棄防止の啓発に努めます。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>①苦情件数「ゼロ」を目指します。</p> <p>②ごみ分別の徹底及び不法投棄防止の啓発に努めます。</p>	
	2. 実 績 (成 果)	
	<p>①「あいさつ」の励行、親切・丁寧な窓口の対応に心がけ、課内各職員の連携により迅速に適正な処理が実行できました。</p> <p>②定期的に管轄地区内を巡回し、不法投棄も発見したが所有者の特定まで至りませんでした。随時巡回及び不法投棄防止啓発看板の増設を行い、箇所及び量の増加を抑制できました。</p>	
	3. 評 価	○
	<p>①概ね実行できました。</p> <p>②巡回をすることで、不法投棄の抑制につながりました。</p>	
	4. 今 後 の 展 開	
	<p>①業務及び電話での対応について、窓口苦情件数「ゼロ」を目指します。</p> <p>②今後も巡回を繰り返し行い、不法投棄の根絶に努めます。</p>	

全体	43
個別	10-03

平成29年度 [中 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	住 民 生 活 課
-----	-----------

No.	項 目	税・水道料金の納付促進
	1. 組 織 目 標	
		<p>【 内 容 】</p> <p>①税の徴収率向上を図ります。 ②水道料金の徴収率向上を図ります。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>①税の現年度徴収率を95%以上、滞納分徴収率を10%以上にします。 ②水道料金の現年分徴収率99%以上、未収金額を80万円以下に減額しま</p>
	2. 実 績 (成 果)	
		<p>①徴収率を上げるため、電話や文書での催告及び未納者宅を訪問し、納付指導を行った結果、現年度分は目標指数を達成できませんでしたが、滞納分については達成できました。 (現年度分徴収実績率：94.51%、滞納分実績率：10.3%)</p> <p>②徴収率を上げるため、電話や文書での催告及び未納者宅を訪問し、納付指導を行いました。目標指数を達成する事ができませんでした。 (現年度分徴収実績率：98.6%、未収金実績額：988,330円)</p>
	3. 評 価	△
		<p>目標の4項目中、1項目しか達成ができませんでしたが、催告や納税相談等を昨年度以上に実施したことで、滞納分の完納者を多く出すことができました。</p>
	4. 今 後 の 展 開	
		<p>今後も徴収率向上（特に現年分）に努め、滞納額及び未収金を減らしていくように目指します。</p>

全体	44
個別	10-04

平成29年度 [中 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	峰行政サービスセンター
-----	-------------

No.	項 目	快適な窓口サービスと電話対応の向上
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <p>職員相互の情報の共有化を図り、市民のニーズに対し広い間口体制を構築し、主担当が不在でも対応できる体制づくりと、電話対応の向上を目指します。</p> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口対応の適正・迅速化を図ります。 ・窓口及び電話対応に対する「苦情ゼロ」を目指します。 	
	2. 実 績 (成 果)	
	<p>来庁されるお客様に満足いただけるよう、全職員が協力し、笑顔であいさつ、迅速丁寧な対応に心がけ、大きな苦情はありませんでした。</p> <p>また、新年度に向け職員の機の配置換えを行い、窓口対応の更なる迅速化を図ります。</p>	
	3. 評 価	○
	<p>毎週月曜日のミーティングなどの活用により職員相互の情報の共有化及び協力体制の構築を図ることができました。</p> <p>また、窓口・電話対応の向上に努めたことにより、大きな苦情はありませんでした。</p>	
	4. 今 後 の 展 開	
	<p>窓口対応は、地域住民からのニーズに応える基本的なことであり、今後も引き続き、笑顔であいさつ、迅速丁寧な対応、窓口の美化に努め、お客様に満足いただける快適なサービス環境を目指します。</p>	

全体	45
個別	11-01

平成29年度 [上 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	地 域 振 興 課
-----	-----------

No.	項 目	地域イベントを活かした交流人口の拡大
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <p>○国境マラソンIN対馬の開催 本年度で21回目を迎える「国境マラソンIN対馬」をより良いイベントとするため、職員間の連携を強化し、地元ボランティアスタッフと協力して、大会の盛会を目指します。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>大会参加者数：1,300名 ボランティアスタッフ：350名</p>	
	2. 実 績 (成 果)	
	<p>大会参加者数：1,302名 ボランティアスタッフ：504名</p>	
	3. 評 価	○
	<p>大会参加者、ボランティアスタッフの目標を達成し、大きなトラブルもなく大会運営ができました。</p>	
	4. 今 後 の 展 開	
	<p>今後も対馬市の一大スポーツイベントである「国境マラソンIN対馬」を継続して開催し、対馬市のPR及び交流人口の拡大を目指します。</p>	

全体	46
個別	11-02

平成29年度 [上 対馬 振興 部] 目標の成果

課 名	地 域 振 興 課
-----	-----------

No.	項 目	対馬の自然を活かした観光地の整備
	1. 組 織 目 標	
		<p>【 内 容 】</p> <p>○三字田地域整備方針の検討 対馬の豊かな自然を活かした観光地の整備を行い、観光客の満足度を高め、交流人口の増加を目指します。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>県所有の自然公園施設部分を譲り受け、平成30年度以降に施設整備を行うため、国定公園の事業認定を目指します。</p>
	2. 実 績 (成 果)	
		<ul style="list-style-type: none"> ・県から自然公園施設を譲り受けました。(平成29年12月4日付) ・自然公園法における事業執行協議を終えました。(平成30年3月30日付)
	3. 評 価	○
		<p>県所有の自然公園施設を譲り受け、事業執行協議を終えるとともに自然環境整備交付金の要望まで行いました。</p>
	4. 今 後 の 展 開	
		<p>環境省の自然環境整備交付金を要望しており、交付が決定すればキャンプ場の改修に着手します。</p>

全体	47
個別	11-03

平成29年度 [上 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	住 民 生 活 課
-----	-----------

No.	項 目	窓口サービスの適正・迅速化と電話対応の向上
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <p>職員相互間の情報共有化を図り、市民ニーズに対し広い間口体制を構築し、担当が不在でも市民ニーズに応えられる体制づくりと、窓口・電話対応の向上を目指します。</p> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口対応の適正化・迅速化を図ります。 ・窓口・電話対応に対する苦情「ゼロ」を目指します。 	
	2. 実 績 (成 果)	
	<p>窓口・電話対応においては、全職員が協力し迅速で親切・丁寧な対応を心がけました。</p>	
	3. 評 価	○
	<p>職員相互間の情報の共有化及び協力体制の構築を図ることができました。 また、窓口・電話対応の向上に努めたことにより、大きな苦情はありませんでした。</p>	
	4. 今 後 の 展 開	
	<p>地域住民のニーズに応えるため、引き続いて迅速丁寧な窓口及び電話対応の向上に努め、親しみやすい職場環境の構築を目指します。</p>	

全体	48
個別	11-04

平成29年度 [上 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	北 部 建 設 事 務 所
-----	---------------

No.	項 目	公共工事の早期発注、早期完成															
	1. 組 織 目 標																
	<p>【 内 容 】</p> <p>公共工事における測量・調査・設計の早期着手及び計画的な用地交渉を行い、本工事の早期着工及び完成を目指し、島内交通の利便性の向上に努めます。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>平成29年度12月末設計書作成件数及び予定額（測量・調査・設計委託関係）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">総務費</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">9件</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">135百万円</td> </tr> <tr> <td>農林水産業費</td> <td style="text-align: center;">2件</td> <td style="text-align: right;">11百万円</td> </tr> <tr> <td>土木費</td> <td style="text-align: center;">1件</td> <td style="text-align: right;">18百万円</td> </tr> </table> <p>平成29年度12月末設計書作成件数及び予定額（工事）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">農林水産業費</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">6件</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">91百万円</td> </tr> <tr> <td>土木費</td> <td style="text-align: center;">5件</td> <td style="text-align: right;">225百万円</td> </tr> </table>	総務費	9件	135百万円	農林水産業費	2件	11百万円	土木費	1件	18百万円	農林水産業費	6件	91百万円	土木費	5件	225百万円	
総務費	9件	135百万円															
農林水産業費	2件	11百万円															
土木費	1件	18百万円															
農林水産業費	6件	91百万円															
土木費	5件	225百万円															
	2. 実 績 (成 果)																
	<p>(測量・調査・設計委託関係)</p> <p>平成29年度12月末設計書作成件数及び発注額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">総務費</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">8件</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">98百万円</td> </tr> <tr> <td>農林水産業費</td> <td style="text-align: center;">4件</td> <td style="text-align: right;">16百万円</td> </tr> <tr> <td>土木費</td> <td style="text-align: center;">4件</td> <td style="text-align: right;">15百万円</td> </tr> </table> <p>(工事関係)</p> <p>平成29年度12月末設計書作成件数及び発注額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">農林水産業費</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">7件</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">94百万円</td> </tr> <tr> <td>土木費</td> <td style="text-align: center;">8件</td> <td style="text-align: right;">208百万円</td> </tr> </table>	総務費	8件	98百万円	農林水産業費	4件	16百万円	土木費	4件	15百万円	農林水産業費	7件	94百万円	土木費	8件	208百万円	
総務費	8件	98百万円															
農林水産業費	4件	16百万円															
土木費	4件	15百万円															
農林水産業費	7件	94百万円															
土木費	8件	208百万円															
	3. 評 価	△															
	<p>組織目標に掲げた測量設計等委託・本工事の早期着手については、12月末までに概ね達成できましたが、前年度からの繰越工事の遅延や残事業費の執行に時間を要したため、結果的に4件の繰越工事が発生し早期の完成は達成できませんでした。</p>																
	4. 今 後 の 展 開																
	<p>繰越工事の削減に向けて、未契約用地の取得や地元調整など諸問題の早期解決を図り、上半期の工事執行に努めます。</p>																

全体	49
個別	11-05

平成29年度 [上 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	上県行政サービスセンター
-----	--------------

No.	項 目	窓口及び電話対応の向上
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <p>地域住民に寄り添った親切丁寧な窓口対応を実践することで、地域住民の方々の最も身近な行政機関として相談しやすい環境を醸成します。</p> <p>また、電話対応においては相手の立場に立った親しみやすく、分かりやすい、親切丁寧な対応の実践を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来庁者への声かけ及び挨拶の励行を実践する。 ・職員相互の情報の共有化を図り、スピーディな窓口対応を実践する。 ・電話は3コール以内の受信に努め、送話者の立場に立った電話対応を実践する。 <p>【 指 標 】</p> <p>窓口、電話対応に対する苦情件数「ゼロ」を目指す。</p>
	2. 実 績 (成 果)	<p>上県行政サービスセンター職員全員が、来庁者に親しみやすい挨拶、声かけ、お客様を極力待たせないことを日頃から心がけ対応を行いました。</p> <p>また、電話対応においても同様の対応を行いました。</p>
	3. 評 価	○
		<p>窓口対応は、来庁者に対し親しみやすい挨拶、声かけ及び極力お客様をお待たせしない対応の実践、電話対応においては相手の立場に立った分かりやすく、親切丁寧な実践ができました。</p> <p>また、窓口及び電話対応の向上を常に心がけることにより、職員の住民サービスの基本姿勢の向上、住民に親しみやすい体制づくりができたと考えています。</p>
	4. 今 後 の 展 開	<p>窓口及び電話対応の向上は、住民に最も身近な行政機関であることから、引き続き組織目標として掲げ、住民に親しみやすく、苦情のない組織づくりを目指していきます。</p>

全体	50
個別	11-06

平成29年度 [上 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	上県行政サービスセンター
-----	--------------

No.	項 目	地域イベント・ボランティア活動への参加
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <p>管内の地域で開催されるあじさい祭り・パラグライディング大会、対馬初午祭り等のイベント、その他清掃活動等に上県行政サービスセンター職員が積極的に参加し、市民協働の地域づくりを推進します。</p> <p>また、近隣地域で開催されるひとつばたご祭り、国境マラソンIN対馬等のイベントにも積極的に参加し、職員間の相互連携体制の強化づくりを促進し、北部対馬の一体感を醸成します。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>管内イベント等の正職員の参加率 60%以上を目標 近隣地域イベント等の正職員の参加率 50%以上を目標</p>
	2. 実 績 (成 果)	<p>地元開催のアジサイ祭り・パラグライディング大会、上対馬で開催の国境マラソンIN対馬、ひとつばたご祭り等に上県行政サービスセンター職員の75%がボランティアとして参加し、市民協働の地域づくりの一翼を担いました。</p> <p>・正職員の参加率 75%</p>
	3. 評 価	○
		<p>上県行政サービスセンターの殆どの職員が地域で開催されたイベントにボランティアとして参加し、地域住民と一体となりイベントを支え市民協働の地域づくりの重要性を認識することができました。</p>
	4. 今 後 の 展 開	<p>引き続き組織目標として掲げ市民協働の地域づくりを推進することを目指していきます。</p>

全体	51
個別	11-07

平成29年度 [上 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	上県行政サービスセンター
-----	--------------

No.	項 目	庁舎内及び庁舎敷地内の清掃及び整理整頓の徹底
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <p>庁舎内及び敷地内の清掃並びに整理整頓の徹底を行うことで、地域住民に最も身近な行政機関として来庁者に心地よい環境を醸成します。また、庁舎内の未使用スペースの不要物の廃棄等を行い、未使用スペースの有効活用を検討します。</p> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 庁舎内の週1回の清掃の実施及び年4回の庁舎敷地内の清掃、除草の実施 ・ ごみや汚れを見つけた場合の「即清掃」の実施 ・ 庁舎内から出るごみの減量化と分別の実施 ・ ポスター等の掲示物の掲示期限に到達後の速やかな廃棄 ・ 使用していないスペースの不要物の廃棄 	
	2. 実 績 (成 果)	
	<p>庁舎内の週1回の清掃、敷地内の年4回の清掃及び除草並びに「即清掃」の実施は、目標どおり達成できました。</p> <p>庁舎内から出るごみの減量化及びごみの分別の実施については、ミスプリントの裏紙利用、封筒の再利用等並びにカン、ビン、段ボール及びペットボトルの分別により目標どおり達成できました。</p> <p>また、掲示物の掲示期限到達後の速やかな廃棄についても、月2回程度職員が見回り、庁舎内及び掲示場の期限に到達した掲示物を廃棄したので目標を達成できました。</p> <p>ただし、使用していないスペースの不要物の廃棄については、時間的な余裕がなく、目標達成ができませんでした。</p>	
	3. 評 価	△
	<p>庁舎内及び庁舎周辺環境美化については、来庁者をはじめ周辺住民の市役所に対する印象に大きく影響を与えることから、今後さらに職員の意識向上を図り、未使用スペースにある不要物を廃棄し、庁舎の有効利用を推進していきたい。</p>	
	4. 今 後 の 展 開	
	<p>今後も取組内容を強化し、庁舎内外環境美化を一層推進できるよう目指していきます。</p>	

全体	52
個別	12-01

平成 29 年度 [消 防 本 部] 目標の成果

課 名	総 務 課
-----	-------

No.	項 目	地区消防団員の増員、車両の適正配置及び団員の安全装備品配備
	1. 組 織 目 標	
		<p>【 内 容 】</p> <p>平成 28 年度に創設した機能別消防団員の加入に伴い、消防団員の実員数は昨年度に比べ 5 人増加しました。しかしながら、依然として基本消防団員の減少には、歯止めがかかっていない状況にあることから本年度も基本消防団員の増員を図ります。特に女性、若年層の消防団員の増員を図ります。あわせて、本年度も引き続き消防団車両の適正配置及び消防団員の安全装備品の配備を行います。</p> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各地区消防団員の増員を図ります。 ●団員安全装備品配備計画を継続します。
	2. 実 績 (成 果)	
		<ul style="list-style-type: none"> ●団員の増員 機能別消防団員の増員（66 人増員）に伴い昨年度より消防団員は、15 人増員 ●団員安全装備品配備計画 （安全半長靴 250 足・防火衣 20 着・発電機 3 基）
	3. 評 価	△
		<p>消防団員の増加については基本的消防団員数は減となったものの機能的消防団員の加入に伴い実員数が 15 人増加となりました。</p> <p>消防団員の安全装備品配備について、平成 29 年度は計画通り配置、配備が出来ました。</p> <p>（※消防団員実員数 平成 28 年度 1,492 人 ・ 平成 29 年度 1,507 人）</p>
	4. 今 後 の 展 開	
		<p>平成 30 年度以降も引き続き計画に基づいて配置、配備を進めていきます。</p>

全体	53
個別	12-02

平成29年度 [消 防 本 部] 目標の成果

課 名	警 防 課
-----	-------

No.	項 目	応急手当の普及啓発活動																																														
	1. 組 織 目 標																																															
		<p>【 内 容 】 救急隊到着まで、現場に居合わせた市民による応急手当（心肺蘇生法・AEDの活用）は、救命率の向上及び救命予後を左右し重要です。島内設置のAED活用の重要性について、CATV、市報等で周知し、広く応急手当等の普及啓発活動を進め、救命率の向上を図ります。</p> <p>【 指 標 】 目標受講者数：延べ1,300名</p>																																														
	2. 実 績 (成 果)																																															
		<p>応急手当普及活動実績（過去3年）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>講習種別</th> <th colspan="2">27年度中</th> <th colspan="2">28年度中</th> <th colspan="2">29年度中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総受講者数</td> <td>52回</td> <td>979名</td> <td>37回</td> <td>1,223名</td> <td>50回</td> <td>1,187名</td> </tr> <tr> <td>普通救命講習</td> <td>18回</td> <td>173名</td> <td>21回</td> <td>332名</td> <td>17回</td> <td>182名</td> </tr> <tr> <td>救急法講習</td> <td>34回</td> <td>806名</td> <td>16回</td> <td>901名</td> <td>33回</td> <td>1,005名</td> </tr> </tbody> </table> <p>市民によるAED使用の救急事案状況（過去3年）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th colspan="2">平成28年度</th> <th colspan="2">平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AED使用件数</td> <td>1件</td> <td>AED使用件数</td> <td>6件</td> <td>AED使用件数</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>ショック適応件数</td> <td>0件</td> <td>ショック適応件数</td> <td>1件</td> <td>ショック適応件数</td> <td>3件</td> </tr> </tbody> </table>	講習種別	27年度中		28年度中		29年度中		総受講者数	52回	979名	37回	1,223名	50回	1,187名	普通救命講習	18回	173名	21回	332名	17回	182名	救急法講習	34回	806名	16回	901名	33回	1,005名		平成27年度	平成28年度		平成29年度		AED使用件数	1件	AED使用件数	6件	AED使用件数	4件	ショック適応件数	0件	ショック適応件数	1件	ショック適応件数	3件
講習種別	27年度中		28年度中		29年度中																																											
総受講者数	52回	979名	37回	1,223名	50回	1,187名																																										
普通救命講習	18回	173名	21回	332名	17回	182名																																										
救急法講習	34回	806名	16回	901名	33回	1,005名																																										
	平成27年度	平成28年度		平成29年度																																												
AED使用件数	1件	AED使用件数	6件	AED使用件数	4件																																											
ショック適応件数	0件	ショック適応件数	1件	ショック適応件数	3件																																											
	3. 評 価	○																																														
		<p>目標受講者数1,300名に対し、1,187名の市民が応急手当講習を受講され、目標達成率は、91%となりました。救急事案においても、市民が地区に設置されたAEDを活用し、救急隊到着時に傷病者が心拍再開したという実績もありました。目標受講者数には届かないものの、実際に市民がAEDを活用することで救命のリレーを確立できた事は、今後の普及推進活動においても大きな飛躍の一步であると確信します。</p>																																														
	4. 今 後 の 展 開																																															
		<p>今後も継続して市民の皆様に応急手当の重要性、普及啓発を図ります。119受報時の口頭指導に併せて、AED設置位置の情報を提供致します。また、実際の救急事案の救命リレー成功例を市民の皆様に周知しながら、更なる対馬島内における救命リレーの質の向上を図り、傷病者の社会復帰を最終目標に普及啓発活動を展開致します。</p>																																														

全体	54
個別	12-03

平成29年度 [消 防 本 部] 目標の成果

課 名	予 防 課
-----	-------

No.	項 目	住宅用火災警報器設置促進、維持管理及び宿泊施設の消防用設備等設置促進
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <ol style="list-style-type: none"> 住宅用火災警報器設置促進のため、火災予防運動や広報誌等を通して設置促進を図るとともにホームヘルパーや民生委員などに協力を依頼し、既設の住宅用火災警報器の維持管理の指導を行います。 小規模既存宿泊施設に対する自動火災報知設備の早期設置指導及び防火管理の徹底を行います。 <p>【 指 標 】</p> <ol style="list-style-type: none"> 住宅用火災警報器低設置地区50%未満の地区をなくすとともに対馬市全域において設置率80%以上となるよう向上を図ります。 小規模既存宿泊施設に対する自動火災報知設備の設置猶予期間が、今年度末となっているため既存施設に対する徹底指導を図ります。 	
	2. 実 績 (成 果)	
	<ol style="list-style-type: none"> 住宅用火災警報器設置促進と電池等の維持管理指導を行ったところですが、設置率50%未満の地区が2地区残り、対馬市全域においても75.51%の設置率でした。 既設の住宅用火災警報器の維持管理については、設置促進を含めた訪問世帯数が12,657件でした。 平成29年度末までに自動火災報知設備の設置を要する既存の小規模宿泊施設27施設中、24施設が設置完了しました。 	
	3. 評 価	△
	<ol style="list-style-type: none"> 住宅用火災警報器の設置については、設置率50%未満の低設置地区解消ができず、対馬市全域の設置率も目標であった80%以上を達成できませんでした。 設置促進を含めた把握率は、84.79%でした。 小規模な既存の宿泊施設に対する自動火災報知設備の全施設設置ができませんでした。 	
	4. 今 後 の 展 開	
	<ol style="list-style-type: none"> 平成30年度以降も住宅用火災警報器未設置世帯に対し地道な指導を続けるとともに、ホームヘルパーや地区の民生委員などに協力を依頼し設置率向上を目指します。 平成30年度から施行された公表制度とリンクし、早期設置を目指します。 	

全体	55
個別	13-01

平成29年度 [教育委員会事務局] 目標の成果

課名	教育総務課
----	-------

No.	項目	島っこ留学制度による留学生1名以上を招致する。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>「島っこ留学制度」は、豊かな学びと地域における体験活動等を願う島外の方を対象に、市内の小・中学校に入学または転学を希望される児童・生徒を受け入れ、対馬市の学校並びに地域の活性化と教育の振興・充実を図る事を目的として平成27年11月からスタートした制度です。</p> <p>複式学級の解消にも有効で、去年に引き続き西小学校、豆酏中学校を受入モデル地域として体験留学、広報・啓発事業を実施します。</p> <p>受入体制が未整備のため、2年間実績はありませんでしたが、地元実行委員会の協力をいただき1名以上の留学生を招致をします。</p>	
	2. 実績(成果)	
	<p>里親1名を三根地区に確保できました。</p> <p>体験留学の参加者から1名が平成29年9月から留学生となり、平成30年4月から2名の留学生を招致できました。</p> <p>・西小学校 4年男子 1名 ・西部中学校 1年男子 1名 ・西部中学校 2年男子 1名 合計3名</p>	
	3. 評価	○
	<p>・これまで2年間招致ができませんでしたが、平成29年度は3名の留学生招致に成功しました。</p> <p>・体験留学では、6世帯15名の参加者があり、内1名が留学生となりました。</p> <p>・福岡事業説明会に1名の参加者があり、留学生となりました。</p> <p>・事前視察を2世帯受入、両世帯とも留学生となりました。</p> <p>・広報・啓発事業は専門業者と委託契約し、ホームページの開設、チラシ2万枚の作成と配布を実施しました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>・里親を確保するため再度募集をかける必要がありますが、非常に困難な状況です。</p> <p>・島っこ寮を整備し、受入体制の充実を図ることが急務となります。</p> <p>・チラシ等紙媒体の広報物に対する反応は全くありませんでした。今後はSNS等インターネットを利用した広報活動に重点をおいて展開する必要があります。</p> <p>・体験留学は、留学の可能性が高い世帯を少数選出し効果を高める必要があります。</p>	

全体	56
個別	13-02

平成29年度 [教 育 委 員 会] 目標の成果

課 名	学 校 教 育 課
-----	-----------

No.	項 目	ふるさと対馬を愛し、豊かな心と確かな学力を身に付けた子どもの育成
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】 [対馬の未来を担う人材育成のための教育の推進] 1. 確かな学力を身に付けた児童生徒の育成 2. 心豊かでたくましく、郷土を愛する児童生徒の育成 3. 生徒指導及び特別支援教育の充実 4. 校種間連携、地域との連携の推進 5. 幼稚園・こども園教育の充実</p> <p>【 指 標 】 1. 確かな学力を身に付けた児童生徒の育成 (1) 主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりに関する指導 (2) 少人数指導、複式指導の充実 2. 心豊かでたくましく、郷土を愛する児童生徒の育成 (1) ふるさとを題材にしたり、学習場所にしたりする学習の充実 (2) 道徳教科化趣旨の徹底と授業改善の促進 3. 生徒指導及び特別支援教育の充実 (1) 関係機関、S S W及びS Cとの連携及び各種研修の充実 (2) 各種実態調査の継続実施と、個に応じた支援策の推進 4. 校種間連携、地域との連携の推進 (1) 学校・家庭・地域が一体となった学校づくりの推進 (2) 連携型中高一貫教育の充実 5. 幼稚園・こども園教育の充実 (1) 特色ある園づくりの推進 (2) 比田勝こども園の運営支援</p>	
	2. 実 績 (成 果)	
	<p>1. 確かな学力を身に付けた児童生徒の育成 (1) 指導法改善研修会を小1回、中2回開催。研究指定校10校の支援を行いました。 (2) 学力調査の結果が国や県の平均を上回るなど、改善傾向が見られました。</p> <p>2. 心豊かでたくましく、郷土を愛する児童生徒の育成 (1) 全ての学校において、ふるさと学習全体計画を作成しました。 (2) 新任校長校等13校を訪問し、道徳の授業参観と指導助言を実施しました。</p> <p>3. 生徒指導及び特別支援教育の充実 (1) S S Wと4回、分教室の担当者と3回の情報交換会を行いました。 (2) 不登校児童生徒の調査を毎月実施しました。状況改善には至っていません。</p> <p>4. 校種間連携、地域との連携の推進 (1) 地域コーディネーター研修会を、県及び市の生涯学習課と連携して開催しました。 (2) 魅力化推進協議会を3回、推進協議会を1回開催しました。</p> <p>5. 幼稚園・こども園教育の充実 (1) 園長会を5回、各種研修会を6回実施しました。 (2) 1年間のこども園運営の成果や課題を整理し、管理規則を作成しました。</p>	
	3. 評 価	○
	<p>各種研修会や学校訪問、研究指定校事業などを計画通りに実施し、教職員への指導や助言を通して、目標の実現に努めることができました。</p> <p>(1) 確かな学力の定着に向けて、指導法改善研修会や複式指導法研修会等の各種研修会を実施して教職員の指導力向上に努めることができました。</p> <p>(2) 10年経験者研修や学校訪問等の際に、道徳の授業参観や授業づくりの指導を行い、道徳教育の充実につなげることができました。</p>	
	4. 今 後 の 展 開	
	<p>(1) ふるさと学習を充実させるために、各学校の全体計画や学習内容を整理して紹介するなどして、学校間連携を促します。</p> <p>(2) I C T機器の効果的かつ積極的な活用を促すため、教職員を対象とする研修の充実に努めます。</p> <p>(3) 不登校及びその傾向がある児童生徒を支援するため、フリースペース「みちしるべ」の活動を支援するとともに、今後の在り方について検討します。</p>	

全体	57
個別	13-03

平成29年度 [教育委員会事務局] 目標の成果

課名	生涯学習課
----	-------

No.	項目	地域の特性を生かした生涯学習の推進
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>○対馬ならではの「しま」体験活動の実践による地域教育力の向上支援</p> <p>平成29年7月～8月の間において、長崎県内の離島（対馬、壱岐、五島）3地区で「しまの魅力に会う交流支援事業」が開催されます。</p> <p>本市では、7月25日～28日までの4日間、「対馬でしま大作戦」と題して夏休みの思い出づくり事業を実施します。</p> <p>「しま」の人々や参加者同士の交流を深めるとともにシーカヤックやツシマヤマネコ（自然）特有な文化、そして対馬の真珠体験等をプログラムに組み込み、対馬の魅力を再認識し、実行委員会を中心として、地域教育力の向上と島の活性化の支援を目指します。</p>	
	2. 実績（成果）	
	<p>○ 子どもコース</p> <p>○ 参加者（小学4年～中学3年） 島外：40名 市内：15名</p> <p>○ 大学生・高校生・教職員ボランティア 15名</p> <p>○ 平成29年7月25日から平成29年7月28日まで（3泊4日）</p> <p>対馬の自然体験、産業体験、協力活動体験を、バランス良く盛り込んだプログラム内容で、参加者にとって楽しい、また、思い出に残る体験になったと思われま</p>	
	3. 評価	○
	<p>参加者への事前、事後について、文書や感想文等を通してフォローができました。</p> <p>このような子どもたちへ向けての事業の継続や、参加する高校生スタッフの貴重な経験などが今後も続けられると良い、という意見でまとまりました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>対馬を再発見し、人、自然、文化のすばらしい対馬に興味をもってもらい、再度対馬に行きたいと思われる体験を目指します。</p>	

全体	58
個別	13-04

平成29年度 [教育委員会事務局] 目標の成果

課名	文化財課
----	------

No.	項目	文化財の保存・活用を図ります。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>① 指定文化財の保存整備を継続して実施します。</p> <p>② 「金田城築造1350年記念事業」を開催します。</p> <p>【指標】</p> <p>① 国指定史跡3箇所、県指定史跡1箇所の整備に継続して取り組みます。</p> <p>② 金田城が築造されてから、今年で1350年の節目の年となります。各種イベントを展開し、市内外へ向け情報の発信に努め、貴重な文化財を守り残し伝えることにつなげていきます。</p>	
	2. 実績(成果)	
	<p>① ほぼ計画どおり、保存整備工事を実施しました。</p> <p>② 金田城が築造されてから1350年を記念した各種イベントを開催し、市内外へ向けての情報発信に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金田城フォトコンテスト（応募者：18名 46作品） ・シーカヤックイベント（33名参加） ・古代史、古代山城リレー講座（3回開催、合計140名参加） ・金田城クイズラリー（60名参加） 	
	3. 評価	○
	<p>① 史跡整備については、計画どおり実施することができました。</p> <p>② いずれのイベントも参加者は市内の方が多かったものの、市外からの応募者、参加者もあり、市内外へ向け十分情報発信を行うことができました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>① 史跡整備については、今後も事業を継続し、利用者の利便性の向上を図りながら、有効活用を目指していきます。</p> <p>② 金田城跡への来訪者は年々増えてきておりますが、平成29年4月に「続・日本の100名城」に選ばれ、更に来訪者が増えてきております。また、平成30年度に第1期整備事業を終え、数年後に第2期整備事業に着手することとしており、今後も金田城跡の特徴を活かした整備を行うことで文化遺産としての価値を顕在化し、遺構の保存・活用、交流人口の拡大に努めていきます。</p>	